ROYAL ENFIELD OWNER'S MANUAL

Super METEOR 650

JAPANESE

″はじめに″

Royal Enfieldファミリーへようこそ。

世界で最も古くから生産されているモーターサイクルブランドであるRoyal Enfieldは、ピュア・モーターサイクリングの伝統を忠実に守り続けてきました。

あなたのSuper Meteor 650は、クルーザーの真骨頂です。定評のある空油冷式648ccパラレルツインエンジンと、英国テックセンターで開発されたスタイリッシュなスチールチューブラースパインフレームにより、Super Meteorはパワーと優雅さの完璧なバランスを実現しました。私たちがお客様を想いモーターサイクルを楽しみながら製作したように、お客様も自身のモーターサイクルで新しい世界へのクルージングを楽しんでいただければと思います。

本書は、あなたがモーターサイクルを大切にする上で助けとなるガイドです。ここからのページでは、この先何十年も、あなたの旅と探検の頼もしいパートナーであり続けるために、モーターサイクルのお手入れ方法をご紹介します。

あなたの愛車に最高のケアを提供するため、定期点検はお近くのRoyal Enfield 正規ディーラーでお受けください。お乗りになる前に、サポートやその他の情報について、このマニュアルに記載されている保証条件やその他の情報をお読みください。

-クルーズをお楽しみください！

注意 事項

本マニュアルに記載されているすべての情報は、発行時点で入手可能な最新の製品情報に基づいています。継続的な改良の為、このマニュアルに記載されている情報とお客様のモーターサイクルに関連する情報とは異なる場合があります。
最新の仕様、機能などについては、必ずRoyal Enfield正規ディーラーにお問い合わせください。Royal Enfieldは、事前に通知することなく、同一または類似の変更を行う義務を負うものではありません。画像はすべて説明のための参考画像であり、お客様がお持ちのモデルと全く同じでない場合があります。アクセサリーや機能は標準装備でない場合があります。技術仕様は、Royal Enfieldの独自の判断により、事前の予告なく変更されることがあります。
“© Copyright 2023 Royal Enfield (Eicher Motors Ltd. の子会社)。All Rights Reserved. このマニュアルのいかなる部分も、Royal Enfield社の書面による明確な許可なしに、複製、配布、その他の方法で取り扱うことはできません”。

免責 事項

1. つや消し仕上げの塗装面を磨くと光沢が増すので、モーターサイクルの塗装面は磨かないでください。
2. 塗装された部品は普通の水で洗い、強力な溶剤や洗剤は使わないでください。
3. つや消し仕上げの部品に傷がついた場合、タッチアップや修正 / 除去はできません。
4. バイクのつや消し仕上げの塗装部分には保証は適用されません。

注意

- この車両は Euro 5+ 規制に適合しています。

Part No. RAM00621/B / 12th March 2025

目次

安全性に関する定義..... 4
個人情報およびモーターサイクル情報 5
安全な乗り方のヒント/ガイドライン..... 6
交通ルール..... 10
アクセサリーおよびラゲージ..... 12
技術仕様 14
推奨潤滑油..... 19
モータサイクルの識別番号..... 20
主要パーツの位置..... 21
制御操作 24
警告表示と安全システム..... 49
乗車前点検..... 53
慣らし運転期間..... 54
始動..... 55
ギアシフト、ライディング、停止..... 59
駐車..... 61
ツールキット..... 62
取扱説明書収納場所..... 63
マイナーメンテナンスのポイント.. 64
長距離走行時の注意事項 90
リアサスペンションのセッティング..... 91
洗車の手順..... 93
保管上の注意..... 96
トラブルシューティング..... 97
環境配慮..... 99
定期メンテナンス..... 100
一般保証利用規約と条件..... 105
ボーダレス保証の利用規約と条件..... 111
お客様の責任 / 責任の制限..... 113
排出ガス保証..... 114
燃料蒸発ガス防止装置保証..... 119
無線機の型式認証 121
サービス/メンテナンス記録..... 122
配線図 123
備考..... 124

安全 に 関 す る 定義

タ イ ト ル の 下 に 記載 さ れ て い る 情報 ：警告、注意、備考は、お客様の安全のため、また、お客様のモーターサイクルや他の人々への配慮と安全のためのものです。これらを注意深くお読みください 無視すると、自分自身や他の人が負傷したり、モーターサイクルの損傷に繋がる場合があります。

⚠ 警告

危 険 な 状態 に な る 可能性 が あ る こ と を 示 し て い ま す。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、ライダーや他の人が傷害を負う可能性があります。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、モーターサイクルが破損する恐れがあります。

備考

ご理解を深めていただくために、重要で有用なメッセージを表示しています。

個人情報およびモーターサイクル情報

名 前			
番地/通り			
地域 / 町			
市		国	
連絡先	住所:	オフィス:	
	携帯電話:	電子メール:	
ライセンスナンバー		有効期限:	
モ デ ル		カラー:	
エンジン番号			
車両識別番号番号			
タイヤメーカー	フロント:	リア:	
タイヤ番号	フロント:	リア:	
バッテリーメーカー		バッテリー番号	
販 売 者			
販 売 日			

安全な乗り方のヒント/ガイドライン

- 新しいモーターサイクルお使いになる前に、ご自身とモーターサイクル、そして他の人々の安全のために、本取扱説明書に記載されている操作とメンテナンスの指示をよくお読みになり、それに従っていただきますようお願いいたします。
- 自分が運転する国の交通ルールを知り、それを遵守してください。
- モーターサイクル始動する前に、ブレーキ、クラッチ、ギアシフター、ハンドルバーの操作系、タイヤ空気圧、燃料とオイルレベルなどが適切な状態であるかを点検してください。
- Royal Enfieldの純正スペアパーツおよび認定アクセサリのみを使用してください。他社製の部品を使用すると、モーターサイクルの性能に影響を与え、保証が無効になる場合があります。詳しくは、Royal Enfield正規ディーラーまでお越しください。
- モーターサイクルに燃料を補給する際は、以下のガイドラインをよく守って、細心の注意を払ってください。

★ 給油は、エンジンが停止した状態で、換気の良い場所で行ってください。
★ 燃料キャップをゆっくり開けてください。
★ 携帯電話やその他の電子機器の電源OFFにします。
★ 燃料補給や燃料システムの整備の際、モーターサイクルの近くでタバコを吸ったり、火花を散らしたりしないでください。
★ 燃料が膨張するのを考慮して、燃料タンク内に十分な空間を残すように、給油はアンチスプラッシュプレートの底までにしてください。

警告

Royal Enfieldは、アフターマーケットやカスタムメイドの延長フロントフォークやサスペンションなど、一部の非標準パーツを使用すると、性能とハンドリングに悪影響を及ぼす可能性があるため、使用しないよう注意して下さい。純正部品の取り外しや改造は、性能に悪影響を及ぼし、事故の原因となることがあります。

安全な乗り方のヒント/ガイドライン

- 新車のモーターサイクルは、指定された慣らし運転期間に従って運転する必要があります。各項目に記載されている慣らし運転期間を参照してください。
- あらゆる状況下でのモーターサイクルの操作と操縦特性に慣れるまでは、交通の少ない場所で、適度なスピードでのみ運転してください。
- 法定速度を超えたり、現況に対して速度を出し過ぎたりしないでください。劣悪な走行条件の時は、必ず速度を落としてください。高速になると、安定性に影響を与える他の条件の影響が大きくなり、制御不能になる可能性が高くなります。

注意

経験の浅いライダーは、正しいモーターサイクルの乗り方について正式なトレーニングを受け、モーターサイクルの操作に十分慣れておくことをお勧めします。初心者のライダーは、適度な速度で運転しながら、さまざまな条件下で経験を積んでください。

路面や風の状態に十分注意してください。どのようなモーターサイクルでも、以下のような力の影響を受ける可能性があります:

- ★ 通過する車からの強風。
- ★ 荒れていたり、凹凸がある路面。
- ★ 滑りやすい路面。

これらの力は、あなたのモーターサイクルのハンドリング特性に影響を与える可能性があります。このような場合は、モーターサイクルの速度をコントロールできる状態まで落としてください。ブレーキを急にかけないでください。

- モーターサイクル安全に運転しましょう。モーターサイクルは事故の際、自動車と同じように保護されるわけではないことを忘れないでください。最もよくある事故の状況は、相手のモーターサイクル／自動車のライダー／ドライバーがモーターサイクル見落としたり、認識しなかったりして、対向車のモーターサイクルに衝突してしまうことです。

安全な乗り方のヒント/ガイドライン

- 認可されたヘルメット、モーターサイクルの運転に適した衣服と靴を着用してください。特に夜間は、明るい／鮮やかな色で視認性を高めると良いでしょう。ゆったりとした羽織りものやスカーフなどは避けてください。
- 同乗者を乗せる場合は、お客様の責任において、適切な運転手順を指導してください。
- いかなる状況下でも、相手が経験豊富な免許を持ったライダーであり、モーターサイクルの運転条件を熟知していることがわからない限り、他の人にモーターサイクルを運転させてはいけません。

⚠ 警告

- ショックアブソーバーとフロントフォークを定期的に点検し、漏れがないか確認してください。磨耗した部品は交換してください。部品が摩耗すると、安定性や操作性に悪影響を及ぼすことがあります。
- 排気ガスには有毒な一酸化炭素や化学物質が含まれており、がんや先天性異常、その他の生殖器系異常を引き起こすことが知られています。
- お客様の安全のために、記載されているサービスやメンテナンスの推奨事項はすべて実施してください。推奨された間隔で定期的にメンテナンスを行わないと、モーターサイクルの安全性／耐久性／寿命に影響を与える可能性があります。
- 高温になっている排気装置に触れないようにしてください。走行中は脚を完全に覆うような衣服を着用して下さい。排気装置は、エンジンが始動していると非常に高温になり、エンジンを止めた後も触れることができないほど熱くなっています。適切な防護服を着用しないと、重傷を負う恐れがあります。
- モーターサイクル用バッテリーには、鉛、酸、および癌、先天性異常、その他の生殖障害を引き起こすことが知られている化学物質が含まれています。バッテリーの取り扱いには細心の注意を払い、バッテリーを取り扱った際には必ず手をよく洗ってください。

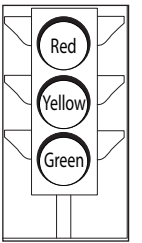
安全な乗り方のヒント/ガイドライン

⚠ 警告

- モーターサイクルの運転中に生じた疑問や問題については、Royal Enfield正規デーラーにご相談ください。これを怠ると、初期の問題を悪化させたり、高額な修理が必要になったり、身の危険を招く恐れがあります。
- モーターサイクルを牽引しないでください。牽引されたモーターサイクルのステアリングやハンドリングが、牽引線の力で損なわれてしまいます。モーターサイクル運搬する必要がある場合は、トラックやトレーラーを使用してください。
- モーターサイクルの後ろにトレーラーを付けることは絶対にやめてください。トレーラーを牽引すると、ブレーキ効率が低下したり、タイヤに過負荷がかかったり、操縦性が不安定になったりして、前方のモーターサイクル制御できなくなり、事故につながる恐れがあります。

交通 ルール

- ナンバープレートは法律で定められた位置に設置し、常にはっきりと見えるようにしてください。
- 走行する路面の種類に応じた安全な速度で走行してください。以下のような路面を走行するときは、十分に注意してください：
  - ★ ほこりっぽい
  - ★ 油っぽい
  - ★ 凍結がある
  - ★ 濡れている
  - ★ 砂利がある
- モーターサイクルの安定性を妨げる可能性のある、落ち葉、滑りやすい物質、砂利などのゴミに注意してください。
- 対向車と出会うときは、道路の中心線の正しい側を通ってください。
- 同一方向に進む車両を追い越すときは、方向指示器を作動させ、注意してください。交差点、カーブ、坂道では、絶対に同じ方向に走る他の車を追い越してはいけません。
- 交差点では、左側または右側の車両に道を譲ってください。自分が優先だと思ってはいけません。
- 停車、旋回、追い越しの準備をする際には、自国の交通規則に従ってください。右折、左折の際は、歩行者や動物、他の車両に注意してください。



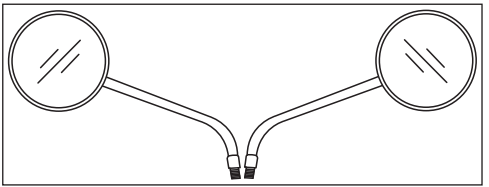
- 交差点では、手動制御を含むすべての交通標識に速やかに従ってください。学校付近の交通標識や踏切の注意標識では減速してください。
- 曲がるときは、少なくとも30メートル手前で合図をしてください。センターラインに近づき、減速してから慎重に曲がってください(地域の規則で他のルールが定められている場合を除く)。

交通 ルール

- 信号無視は絶対にしないでください。交差点で青から赤（またはその逆）への変化が迫っているときは、速度を落として信号が青に変わるのを待って下さい。黄色や赤の信号機は絶対に通過しないでください。
- 合図なしに路肩や駐車場から出てはいけません。動いている車線に入る際は、道が空いていることを確認してください。走行車両のの走行を妨げてはいけません。
- モーターサイクルを駐車する際は、転倒を防止するために、平坦な場所に駐車してください。
- 盗難からバイクを守りましょう。バイクを駐車したら、ステアリングヘッドがロックされていることを確認し、イグニッションキーを取り外。

サイドビューミラー

お使いのモーターサイクルには曲面ミラーが装着されており、その表面は曲面になっています。このタイプのミラーは、通常のフラットミラーに比べ、後方視界を広く確保できるように設計されています。しかし、このタイプの鏡で見る車などは、平面鏡で見るよりも小さく、遠くに見えることになります。



このミラーに映る車や物の大きさ、距離を判断するときは、注意してください。サイドミラーを緩め、調整するには、ツールキットに含まれる工具を使用してください。

注意

ミラーを通してバイクの後方にある車や物のの相対距離を確認するには，運転姿勢に合わせて、自分の肩の一部が見え、モーターサイクル後方の大部分が、はっきりと見えるように各ミラーを調整してください ください。

アクセサリーおよびラゲージ

Royal Enfield は、モーターサイクルと共に完全な承認と広範囲なテストを受けた純正モーターサイクルアクセサリーを提供しています。

従って、アクセサリーを取り付けたり、重量物を載せたりする場合、ライダーはモーターサイクルを安全に運転しなければなりません。

同乗者、荷物、アクセサリーを装着する際は、以下のガイドラインを遵守してください。

- アクセサリーを装備したバイクで単独走行、同乗 者または積載物を載せている時は、 110 km/h (68.3 mph) を超えないようにしてくださ い。
- 荷物の重量は、できるだけモーターサイクルの近く、かつ低い位置に置くようにしてください。
- 荷物の重量は、モーターサイクルの両側に均等に配分してください。
- ライダーの後ろにかさばる荷物を載せたり、ハンドルやフロントフォークに重量をかけたりしないでください。
- 定期的に荷物をチェックし、しっかりと固定されているか、走行中にずれないかを確認してください。アクセサリーを緩く装着すると、モーターサイクルの走行に影響を与えたり、ハンドリングや安定性に影響を与えたりすることがあります。
- フェアリング、フロントガラス、バックレスト、荷物ラックのような大きな表面積のあるものは、モーターサイクルのハンドリングに悪影響を与える可能性があります。Royal Enfieldの純正モーターサイクルアクセサリーを使用し、その取り付け手順に従ってください。

⚠ 警告

- モーターサイクルに重量物を載せたり、アクセサ リーを不適切に取り付けたりしない でください。そのようなことをすると、モーターサイクルの安定性、操縦特性、安全な操作に影響を及ぼし、重傷を負ったり死亡したりする事故を招く恐れがあります。
- Royal Enfieldは、モーターサイクルと共に完全な承認と広範囲なテストを受けた純正モーターサイクルアクセサリーを提供しています。

アクセサリーおよびラゲージ

警告

- Royal Enfieldでは、アフターマーケットやカスタムメイドの延長フロントフォークなどの非標準部品の使用は、モーターサイクルの性能やハンドリングに悪影響を及ぼす可能性があるため、使用しないようにご注意ください。純正部品を取り外したり変更したりすると、モーターサイクルの性能に悪影響を及ぼし、重大な負傷や人命を失うような事故を引き起こしかねません。
- モデル／デザインの仕様を無視しないでください。このような行為は、モーターサイクルとアクセサリーの両方の誤用となり、モーターサイクルの操作と性能に悪影響を及ぼして、重大な負傷や死亡につながる事故を引き起こす可能性があります。

ラゲッジカテゴリー（装着時）

- 各Royal Enfield純正モーターサイクルアクセサリーの最大重量は、以下に記載されているものを超えないようにしてください。

  1. ロングホールドパニア – 片側5kg以下
  2. ソフトパニア – 片側3kg以下
  3. トップボックス – 3 kg

技術 仕 様

エ ン ジ ン

エ ン ジ ン タ イ プ	並列2気筒、4ストローク、SOHC
ボア	78 mm
ス ト ロ ー ク	67.8 mm
行程容積	647.95 cc
圧 縮 比	9.5: 1
最大 出力	34.6 kW @ 7250 rpm
最大 ト ル ク	52.3 Nm @ 5650 rpm
アイドル回転数	1200 ± 100 rpm
始動	電機 始 動
エアフィルターエレメント。	ペーパーエレメント
潤滑油	強制潤滑方式、ウェットサンプ方式 ポンプ駆動式オイルデリバリー
燃料供給	燃料噴射装置
冷却方式	空油冷

点火 系

イグニッション	デジタルスパークイグニッション
点火時期	11.25° BTDC
ス パ ー ク プ ラ グ	BOSCH UR5CC
スパークプラグギャップ	0.7 mm to 0.8 mm

技術 仕 様

トランスミッション

クラッチ	湿式多板
プライマリドライブ	ギア
プライマリレシオ	2.05: 1
ギアボックス	6速コンスタントメッシュ
ギア比	1速 2.615:1
	2速 1.813:1
	3速 1.429:1
	4速 1.190:1
	5速 1.040:1
	6速 0.962:1
セカンダリードライブ	スプロケットとチェーン（5/8ピッチ）
セカンダリーレシオ	2.667: 1

シャーシ

フレーム	スチールチューブラースパインフレーム

サスペンション

フロント	アップサイドダウンテレスコピックフォーク、120 mmトラベル
リア	ツインショック、81 mmトラベル

ブレーキ

フロントディスク	シングル320 mmディスク、ツインピストン フローティングキャリパー
リアディスク	300 mmシングルディスク、ツインピストン フローティングキャリパー
ABS	デュアルチャンネル

技術 仕 様

ホイールの種類	標準タイプ
フロント (合金製ホイール)	100/90-19 M/C 57H CEAT ZOOM CRUZ Z F TL (チューブレスタイヤ)
リア (合金製ホイール)	150/80B16 M/C 71H CEAT ZOOM CRUZ Z F TL (チューブレスタイヤ)

タイヤの空気圧	ソロ	パッセンジャー付き
フロント	41 psi	41 psi
リア	36 psi	41 psi

ステアリングロック ..... イグニッションバレル (33度)
燃料タイプ..... 無鉛ガソリン
誘導方式..... 燃料噴射式
燃料タンク容量..... 15.7*L、使用可能 (14.5 L)
燃料低下警告..... 3.1* L、使用可能(2.1 L)
デッドストック。.... 1 L

*上記数値は目安であり、実際の容量は各燃料タンクによって異なります。

技術 仕 様

電 気 系

システム	12V - DC
発電	オルタネーター
オルタネーター出力	156 W @ 1100 rpm
バッテリー	12V- 12 Ah VRLA
ヘッドランプ	FPL 1.55W LED,ロービーム 12.12 W, ハイビーム＋ロービーム 14.22W
ブレーキランプ	4.5 W, LED
テールランプ	2.5 W, LED
ターンシグナル	12V, 10W
インストルメントクラスター	デジタルディスプレイ搭載アナログスピードメーター
ホーン	430Hzハイトーン
スターターモーター	12V, 0.8 kW
充電ポート	USB 2.0 Type A 5 V 2 A 出力

警告

指定された定格以外の電球や電気器具を使用すると、電気系統の過負荷、異常動作、早期故障の原因になります。

Royal Enfield が承認していない改造や取り付けは、車両の性能に重大な影響を及ぼし、保証が無効になります。

技術 仕 様

寸 法

レーキ/ヘッド角..... 27.57度
フロントホイールリムサイズ. MT 2.5 ×19
リアホイールリムサイズ..... MT 3.5 ×16
長さ..... 2300 mm
幅..... 890mm（ミラーを除く）
高さ..... 1155 mm
高さ..... 1380 mm（風防付き）
ホイールベース..... 1500 mm
地上高
（静的たわみ時）..... 135 mm

重量

車両重量..... 241 kg
車両重量..... 244 kg（フロントガラスとバックレスト付き）
車両総重量..... 429 kg

注意

- 上記数値/寸法は目安です。
- 本製品の仕様は、継続的な改良のため、予告なく変更することがあります。

推 奨 潤滑油

エンジンオイル			フロントフォークオイル	ブレーキフルード
等級	API SLに対して10W-50（またはそれ以上） などのJASO MA2。 ELF MOTO4 TECH 10W 50 （全合成）		SS-47G	DOT 4*
容量	1回目ドライフィル: 3.9 L	定期的なオイル交換: 3.1 L	右側フォーク: 578 ml（約） 左側フォーク: 583 ml（約）	フロント :50 ml リア :100 ml

注意

誤ったグレード/混合したオイルを使用すると、可動部の寿命が短くなり、性能に重大な影響を及ぼします。

* DOT 4 と他のブレーキフルードを混ぜないでください。

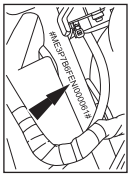
注意

1. 推奨環境は予告なく変更されることがあります。
2. 上記の数値は概算値であり、実際の容量は変動します。

モーターサイクルの識別 番号

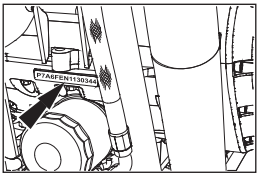
フレーム番号

VINは、ステアリングヘッドチューブの右側にラベル状に打たれた17桁の数字です。



エンジン番号

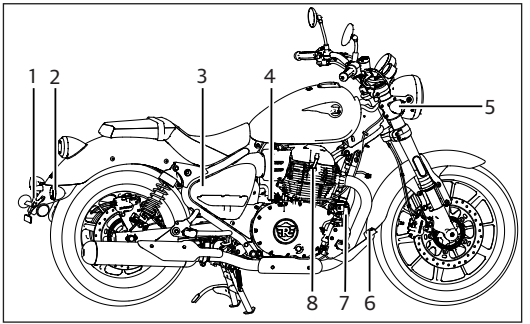
オイルフィルター位置の上にエンジンナンバーが打刻されています。



注意

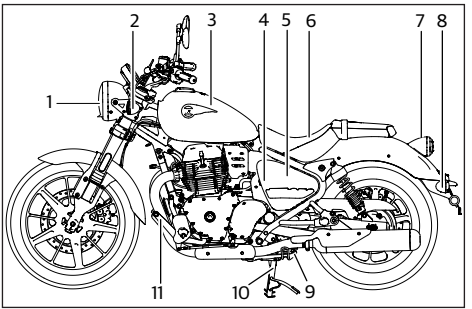
オートバイのVIN/エンジン番号の改ざんは違法であり、法律に違反するだけでなく、車両登録や保証が無効になります。

主要 パ ー ツ の 位置



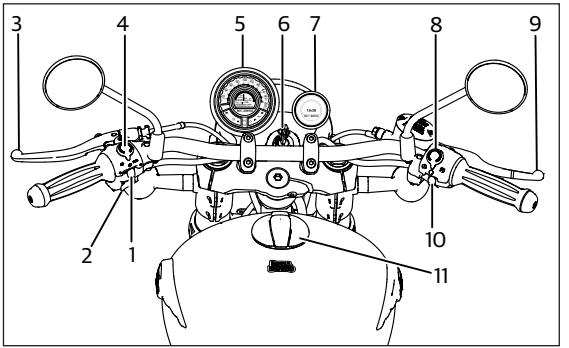
1. ナ ン バ ー プ レ ー ト イルミネーション
2. 右リアウィンカー
3. 右サイドパネル
4. スターターモーター
5. 右フロントウィンカー
6. ブレーキペダル
7. ホーン
8. ス パ ー ク プ ラ グ

主要 パ ー ツ の 位置



1. ヘ ッ ド ラ ン プ
2. 左フロントウィンカー
3. 燃料タンク
4. USBチャージャーポート（パネル内部）
5. 左サイドパネル
6. シート
7. テールランプ
8. 左リアウィンカー
9. サ イ ド ス タ ン ド
10. センタースタンド
11. ギアチェンジペダル

主要 パ ー ツ の 位置



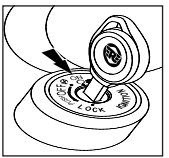
1. ウ イ ン カ ー ス イ ッ チ
2. ホーンスイッチ
3. クラッチレバー
4. ハイビーム/ロービーム/パッシングスイッチ
5. イ ン ス ト ル メ ン ト ク ラ ス タ ー
6. イ グ ニ ッ シ ョ ン キ ー
7. トリッパー(装着時)
8. イグニッション/エンジンキルスイッチ
9. フロントブレーキレバー
10. ハ ザ ー ド ス イ ッ チ
11. 燃料 タ ン ク キ ャ ッ プ

制 御 操作

イグニッションキー

“OFF”

“ON”



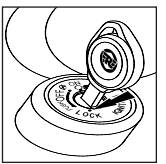
注意

- イグニッションがOFFになっているか、ステアリングがロックされている場合にのみ、キーを取り外すことがすで。
- キーはイグニッション、ガソリンタンクロック、ステアリングロック、左サイドパネルで共通です。
- キーは、燃料タンク、左サイドパネルのキースロットから、ロックされた状態でのみ取り出すことができます。

警告

- モーターサイクルの運転中にイグニッションスイッチをOFFにしないでください。
- それを行うと、ライダーと他の道路利用者の両方に重大な損傷を与え、バイクに深刻な損傷を与える可能性のある事故の原因とす。

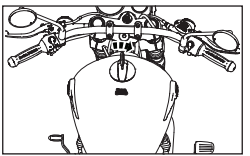
ステアリングロック



- ハンドルバーを左端の位置に回します。
- OFFの位置でキーを中に押し込み、さらに反時計回りに回すと、ステアリングシステムがロックされます。
- キーを時計回りに回すと、ステアリングのロックが解除されます。

制 御 操作

燃料 タ ン ク キャ ッ プ



- 燃料タンクキャップのキーフラップを持ち上げ、キーを挿入します。
- キーを時計回りに回すと開きます。
- キーを押した状態でキャップを押してロックします。
- キャップからキーを外し、フラップを閉じます。

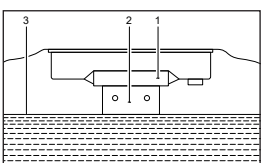
警告

- 燃料タンクに燃料を入れ過ぎないでください。
- 燃料は、アンチスプラッシュプレートの下端までしか入れないでください。
- 燃料を入れすぎると、ガソリンがEVAPキャニスターに入り込み、蒸発エミッションシステムにダメージを与える恐れがあります。

注意

- ガソリンの蒸気は爆発性が高いです。給油の際は、近くに火気などがないことを確認し、十分に換気された場所でのみ給油してください。
- ガソリンが塗装面にこぼれないようにしてください。万一、燃料が塗装面にこぼれた場合は、永久的なシミを残す可能性があるので、すぐに拭き取ってください。
- 給油中や燃料タンクキャップが開いているときは、喫煙しないでください。

給油レベル



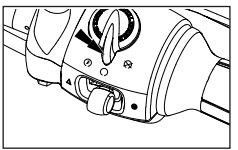
1. フューエルフィラーカラー
2. 飛散 防止 プ レ ー ト
3. 最大 燃料 レ ベ ル

制 御 操作

イグニッション/エンジン停止スイッチ

エ ン ジ ン “OFF”

エ ン ジ ン “ON”

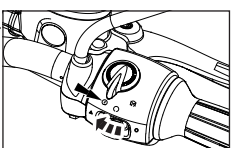


注意

■ エンジンがかかっていない時は、イグニッションスイッチをOFFにしてください。これを行わないと、ヘッドランプがONのままになるため、バッテリーが放電してしまいます。

E- ス タ ー ト ス イ ッ チ

エンジンが始動するまで、電動スタートスイッチを最長 5 秒間押し続けてください。



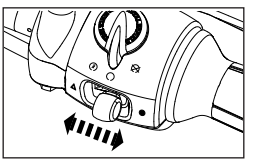
注意

■ 長時間の停車時には、バッテリーの放電を防ぐためにイグニッションキーをOFFにしてください。

ハ ザ ー ド ラ イ ト ス イ ッ チ

ハザードランプ “ON”

“OFF”



注意

■ ハザード点滅はバッテリーに負担をかけます。必要な場合を除き、ハザードを長時間使用しないでください。

ハザードを作動させる方法 :

■ イグニッションスイッチをONにし、ハザードコントロールをONの位置にスライドさせます。手動で解除（OFF）しない限り、ハザードは作動します。

制 御 操作

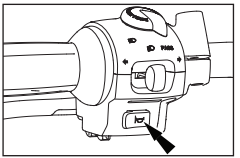
- イグニッションスイッチをONにし、ハザードコントロールをONの位置にスライドさせると、ハザードが作動します - イグニッションスイッチをOFFにすると、ハザードは、 手動で解除（OFF）しない限り、30 分間作動し続けます。
- イグニッションスイッチOFFの状態では、ハザードランプを作動させることができません。

警告

- ハザードライトスイッチを “ON”にすると、ウインカーが作動しません。
- すべてのトラフィケーターランプが同時に点滅します。

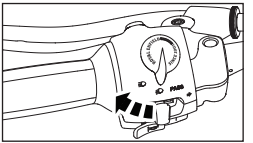
ホーン

ホーンボタンを押すとホーンが鳴ります。



ハイビーム/ロービームスイッチ

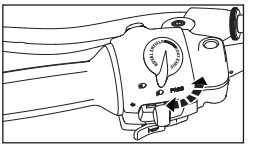
- ヘッドランプを“ON”にすると、スイッチ“の”切り替えでハイビーム／ロービームが選択されます。ハイビームを選択すると、計器盤にあるハイビームインジケーターランプが点灯します。



ハイビーム　ロービーム

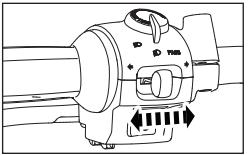
パッシングスイッチ

スイッチを押すとパッシングします。



制 御 操作

ウィンカースイッチ



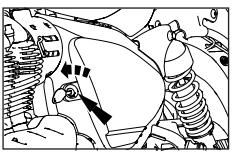
⇦ 左ウィンカー “ON”

⇧ “OFF”(押してキャンセル)

⇨ 右ウィンカー “ON”

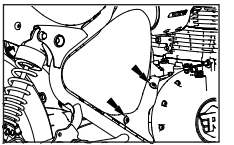
OFF の位置から左右どちらかにボタンを押してから、必要に応じて曲がってください。ウインカーランプを消すには、スイッチが中央の位置に戻ってから“IN”を押します。

左サイドパネル



- キーを反時計方向に回して、左サイドパネルのロックを解除します。
- 左サイドパネルをゆっくりと開けます。

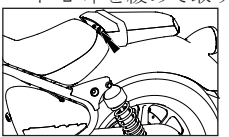
右サイドパネル

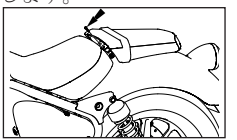


- 右サイドパネルにアクセスするには、ツールキットに含まれる5 mm六角レンチを使用して、2個のボタンボルトを緩めて取り外し、リザーバーパネルを取り外します。
- サイドパネルを引っ張ってロケーターから離し、静かにサイドパネルを取り外します。

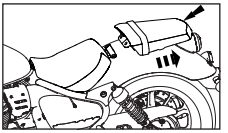
パッセンジャーおよびライダーシートの取り外し

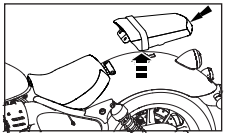
- ツールキットに入っている 5 mm 六角レンチで、リアパッセンジャーシートのキャップヘッドボルト 2 本を緩めて取り外します。



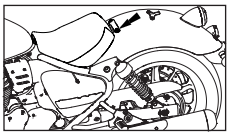


■ シートを前端から持ち上げ、後方にスライドさせるとパッセンジャーシートを取り外すことができます。

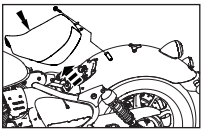




■ シートフレームから 10 mm スパナでフランジ付き六角ボルトを2本取り外します。



■ シートを後端から持ち上げ、後方にスライドさせると、 ライダーシートを取り外すことができます。

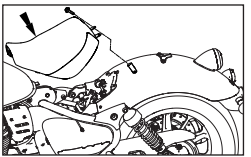


注意

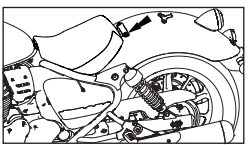
■ 取り外したシートは、キズや汚れがつかないように安全な場所に置いてください。

パッセンジャーおよびライダーシートアッセンブリ

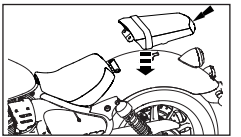
■ ライダーシートの取り付け穴がフレームと一致していることを確認します。

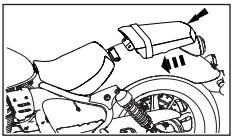


■ フランジ付き六角ボルト2本をセットし、締め付けます。

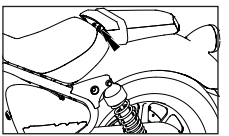


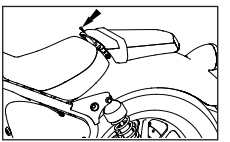
■ リアシートの取り付け穴がフレームと一直線上に あることを確認します。





■ キャップヘッドボルト2本をセットし、締め付けます。～10 Nm



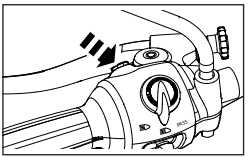


制 御 操作

インフォボタン管理の詳細

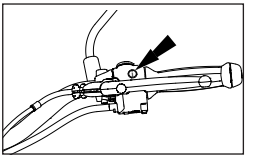
■ LCD SEQUENCE (Info スイッチ押し込み<1秒):-

トリップFが有効の場合。





■ トリップFが有効でない場合。





注意

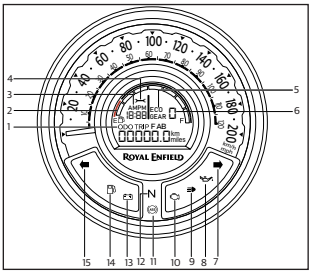
■ トリップの再設定は、infoボタンをT>3秒以上押してください。

制 御 操作

インストルメントクラスター

このインストルメントクラスターは、次のように構成されています：

1. ODOメーター/トリップメーター（A/B/F）
2. 燃料計
3. 時 計
4. サービスリマインダー
5. ECOモード
6. ギアインジケーター
7. 右ターンシグナルインジケーター
8. 油圧低下インジケーター
9. ハイビームインジケーター
10. エンジン誤作動インジケーター
11. ABSインジケーター
12. ニュートラルインジケーター
13. バッテリー電圧低下インジケーター
14. 燃料残量警告灯
15. 左ターンシグナルインジケーター

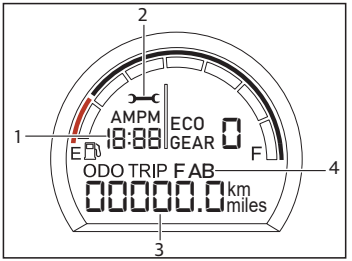


免責 事項

■ クラスターユニットのディスプレイは、頭上に太陽がある場合、くすんで見えることがありますが、これは直射日光の影響によるものであり、正常です。

制 御 操作

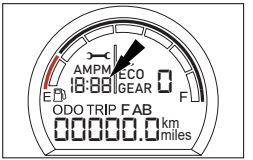
メ イ ン LCD



1. 時 計
2. サ ー ビ ス リ マ イ ン ダ ー
3. オ ド メ ー タ ー
4. トリップ値 (A/B & F)

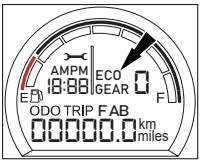
時 計

- 12 時間 表示 、 AM / PM 表示。
- バ ッ テ リ ー を 外 す と 12:00 AM に リ セ ッ ト さ れ ま す。



ECOモード

- 最適な状態で走行した場合に表示されます。



制 御 操作

機能	スイッチ	圧 力 時間 （秒）	動作
時計設定モード	INFO	INFOスイッチを3秒間長押しし、離してください。	イグニッションONで電流表示がODOモード、速度入力がない（安全）状態で、情報ボタンを一定時間押すと、時計設定モードになります（時間が点滅します）
	INFO	INFOスイッチを押して離します	時計の時間が進みます
	INFO	INFOスイッチを3秒間長押しし、離してください。	分 の 入 力 （分 が 点 滅 し ま す）
	INFO	INFOスイッチを押して離します	時計の分が進みます
	INFO	INFOスイッチを3秒間長押しし、離してください。	ユニットモードに入る（AM/PMが点滅します）
	INFO	INFOスイッチを押して離します	AM / PM を 切 り 替 え ま す
	INFO	INFOスイッチを3秒間長押しして離します。	入 力 デ ー タ を 保 存 し 、 時 計 設 定 モ ー ド を 終 了 し ま す

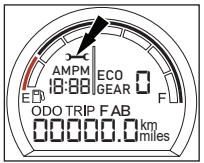
注意

■ 時計設定機能で20秒以上操作がない場合、最後に表示された値を表示します。

制 御 操作

サービスリマインダー

■ サービスリマインダーマークがON の場合。正規サービスセンターでの定期点検をご計画ください。

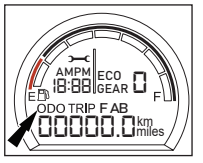


■ サービスリマインダーは、Royal Enfield 正規ディーラーの認定された担当者がサービス完了後にリセットすることができます。

■ オドメーターから入力した以下の距離に応じて、サービスリマインダーのマークが点滅します。
i）1連 の点検 – 450 kmまたは279.6 miles
ii）2連 の点検 – 4,900 kmまたは 3044.7 miles
iii）以降、5,000 km ごとに、前回値から 3106.8 miles ごとに加算されます（例：9,900kmまたは 6151.5 miles、14,900kmまたは9258.4 miles など）

オドメーター

■ 車両の累積走行距離を表示します。



ユニット切り替え

■ ギアをニュートラルモードに変更し、イグニッションス イッチをオフにします。

■ 情報ボタンを押したまま、イグニッションスイッチをオ ンにします。

■ イグニッションスイッチがオンのときに、情報ボタンを 約 15 秒間長押しします。

■ ODO の読み取り値がマイルから km に、またはその逆に 変化します。

制 御 操作

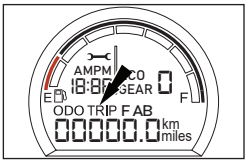
機能	スイッチ	圧力時間 （秒）	動作
ODO	INFO	INFOスイッチを押して離します	イグニッションキーを “ON”にすると、クラスターにODO kmが表示され、トリップAモードに切り替わります。
トリップA	INFO	INFOスイッチを押して離します	トリップA表示モードからトリップBモードへの移行
	INFO	INFOスイッチを3秒間長押しし、離してください。	トリップAのkm値のリセット
トリップB	INFO	INFOスイッチを押して離します	トリップB表示モードからODO/トリップF（有効な場合）モードへの移行
	INFO	INFOスイッチを3秒間長押しし、離してください。	トリップBのkm値のリセット

ノート

Trip A/Trip B - 999.9 km および ODO - 99999.9 km を記録した場合、通知なしで自動的に再びゼロにリセットされます。

トリップ “F” モード

- 燃料切れ予告”が“ON”になってからの走行距離
- 燃料不足を検知した場合のみ表示され、燃料不足の状態より燃料を充填すると消えます。



- この状態では、インフォボタンで表示を切り替える事が出来ますが、25秒後に自動表示されます。スタンドスイッチと連動している為、サイドスタンド状態での、再設定を避ける事ができます。
- トリップ F の状態で 200 km 以上走行すると、LCD に“Low Fuel”の文字が点滅し続けます。このような状態での走行は、燃料ポンプの破損につながりますので、おやめください。

トリップ “F”状態

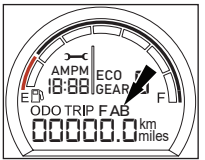
- トリップFはキルスイッチがONの状態の時のみ更新されます。
- 燃料がリザーブレベルを超えて充填された後、トリップFは数分間表示され続けますが、これは正常な動作です。
- 悪路走行時には、燃料が頻繁に振動され、トリップFがリセットされる事がありますが、この機能は参考程度にして、滑らかな路面で使用して下さい。
- サイドスタンドを外した時のみ、トリップFが更新されます。

注意

- 燃料表示は、悪路、上り坂、下り坂で変化します, 正確な表示は、低速走行時や平坦な路面でご確認ください。

トリップA/B

■ トリップA/Bは、特定のトリップの走行距離を示します。



警告

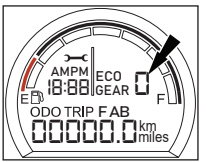
■ バイクを運転中は、絶対に情報ボタンを操作しないでください。これを行うと、集中力を欠き、不安定な走行になり、事故につながる恐れがあります。その結果、ライダーと他の道路利用者に重大な傷害を負わせるとともに、モーターサイクルに深刻な損傷を与えることになります。

ギアポジション表示

■ 車両が走行しているギアポジションを表示します。

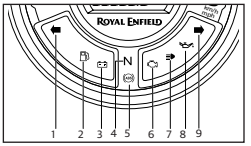
■ ニュートラル時は“0”と表示されます。

■ ギアを入れているときは、1から6 の適切な数字が表示されます。



制 御 操作

デジタルインストルメントクラスター



- (1)左折 : 左ウィンカーON。
- (2)燃料低下表示： 最後のセグメントが点滅し、燃料不足の状態がONと表示されます。
- (3) バッテリー残量低下表示 : イグニッションスイッチがONでエンジンがかかっていない場合、インジケーターは継続的に光ります。エンジンが始動すると、すぐに表示が消えます。バッテリー電圧が12V以下の場合、インジケーターが光り続け、バッテリー残量が少ないことを示します。
- (4) ニュートラルインジケーター：トランスミッションがニュートラルの位置にあります。
- (5) ABS : 初期点検時（特定の距離や速度で走行するまで、または走行後）は常時ON になり、システムに異常がなければOFFになり、ABSシステムに異常があれば再度点灯します。
- (6) EMS誤作動表示：EMSの異常時に常時ONになります。
- (7) ハイビーム表示：ヘッドランプハイビーム ON。
- (8) 油圧低下インジケーター : このインジケーターは、油圧が低すぎるときに点灯します。
- (9) 右折 : 右ウインカーON。

注意

- エンジン始動後、テルテールランプはOFFになります。

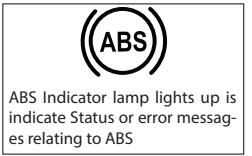
注意

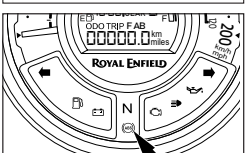
- ECUやセンサーに重大な損傷を与える可能性があるため警告灯がON になり続けている場合は、モーターサイクルを運転しないでください。EMSの不具合を診断および改善するため、お近くのRoyal Enfield正規販売店へお越しください。
- ABS インジケーターランプが ON になり続けている場合は、バイクを運転しないでください。

制 御 操作

ABS インジケーターランプ

■ イグニッションスイッチとエンジンキルスイッチを ″ON″ ポジションにすると、ABSサインが光り、モーターサイクルの速度が 5 km に達して ″OFF″ になるまで ″ON″ の状態が続きます。ABS システムに異常が発生した場合、再度点灯します。





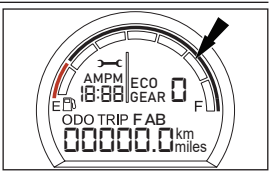
注意

■ ABS インジケーターランプが5 kmph/ 3.1 mph 以上で ″ON″ になり続ける場合は、モーターサイクルを運転しないでください。

燃料 ゲージ

■ 7 段階バーのデジタル表示。

■ Eの方向で最後のセグメントが点滅し、燃料不足の状態が表示されます。



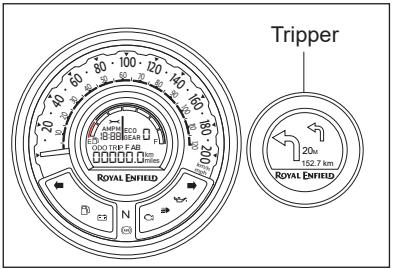
警告

■ 最後のセグメントの燃料表示が点滅している状態で、バイクを長時間使用しないでください。早めに給油してください。

■ これを怠ると、燃料切れでバイクが立ち往生するだけでなく、燃料ポンプに重大な損傷を与えることになります。

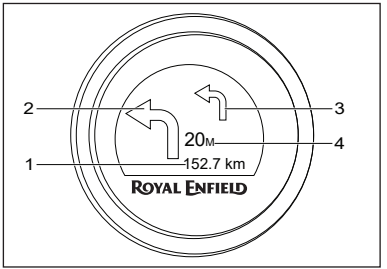
制御装置の操作（装着時）

トリッパー



- トリッパーは、モーターサイクルにターンバイターンナビゲーションを提供し、ライダーがスマートフォンを操作することなくスムーズなライディングができるようにします。このデバイスは、Bluetooth接続をベースに、Google MapsをサポートしたREモバイルアプリを使ってナビゲーション検索を行います。
- このデバイスは、カスタムデザインのラウンドカラーTFTでターンバイターンのナビゲーションを表示することができ、乗りやすさを考慮した独自のデザインの矢印フォントを備えています。
- REモバイルアプリからライダーが選択可能なデイモードとナイトモードの背景表示切り替えが可能です。
- QRコードを読み取ると、ダウンロード、インストール、登録、トリッパーについての詳細が表示されます。

制御装置の操作（装着時）



1. 目的地までの距離またはETA
2. 主方向または次の曲がり角
3. 二次方向または次の次の曲がり角
4. 次の曲がり角までの距離

特徴：

- プライマリーターン、セカンダリーターンのターンバイターンナビゲーション。
- 次の曲がり角までの距離、目的地までの距離、到着予定時刻（ETA）を表示します。
- 時計表示（接続不可、ナビ入力不可、目的地到達後の場合）。
- デイナイトモードを選択可能（REモバイルアプリからのみ）。
- 携帯電話のバッテリー残量表示。

免責事項：

- トリッパーユニットのディスプレイは、太陽が頭上にある状態ではくすんで見えることがありますが、これは直射日光がユニットに与える影響によるもので、他のライディング状態で参照する必要があります。

制御装置の操作（装着時）

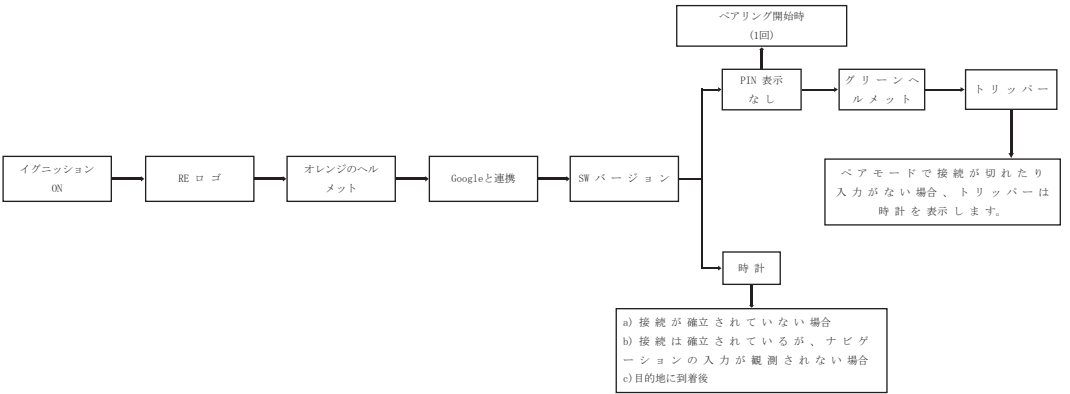
- 一次方向または次のターンは、次に進むべき道を距離とともに示します。
- 次の曲がり角までの距離：次の曲がり角までの距離を表示します。
- 二次方向または次の次の曲がり角：一次方向の次に取るべきターンを示し、一次ターンが100 m 未満の場合のみ表示され、ターンがない場合はこの領域では表示が空白となります。
- 目的地までの距離または ETA: 目的地までの総距離や到着予定時刻を表示します（REMobileアプリで選択した内容に基づく）。

RE モバイルアプリを使用するためのスマートフォン対応版：

- アンドロイドとiOSに対応しています。
- アンドロイド対応: 現在のバージョン(-2)。
- iOS対応: 現在のバージョン(-1)。
- RE モバイルアプリからの接続制御のみ。

制御装置の操作（装着時）

トリッパー–フローシーケンスの表示



備考

- イグニッションを“ON”にするたびに、トリッパーは120 秒間、検出可能な状態になります。
- 120秒以内に接続が確立されない場合。ディスプレイは時計モードになり、イグニッションの“OFF-ON”サイクルを繰り返すための接続を再開します。
- ナビゲーションモードでは、スマートフォンからの入力が5秒間ない場合、電力消費を避けるためにBluetooth接続を終了し、時計を表示します。
- また、エンドユーザーがモバイルアプリケーションを終了することでも、Bluetooth接続を終了させることができます。
- 初回のペアリング時には、Royal Enfield Mobileアプリからトリッパーに表示されているセキュリティピンを入力してデバイスをセットアップする必要がありますが、その後は同じデバイスが接続されていれば自動ペアリングされます。
- トリッパーをペアリングするたびに、時計時刻はモバイル時刻と同期し、その後、接続を解除しても内部時計で動作し続けるため、計器クラスタとトリッパーの表示時刻に差が生じます。クラスターのプッシュボタン管理に記載されているように、必要に応じて、クラスターの時計をトリッパーの表示時刻に合わせて更新する必要があります。
- インストルメントクラスターやトリッパーの洗浄や拭き取りに、ガソリンやペトロール関連の液体を使用しないでください に永久的な損傷を与える可能性があります。

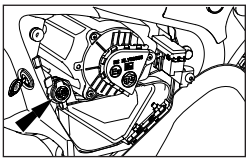
制御装置の操作（装着時）

注意

- イグニッションが"ON"になっていて、ディスプレイに電源が入っていることを確認しながら、接続を確立してください。
- 初回ペアリングは、相互接続を避けるため、必ず隔離された環境で行ってください（1回のみ）。
- 昼と夜のモードはユーザーが選択可能で、ライダーの注意力低下を避けるため、夜間走行中に自動的に選択されるようにはなりません。
- Bluetooth接続は、REモバイルアプリからのみ可能です。
- Bluetoothと位置情報の設定が常にONになっていることを確認してからご使用ください。
- スマートフォンのバッテリー最適化設定/ローバッテリーカット設定を無効にすることで、ナビゲーションをローバッテリーモードで動作させることができます。
- REモバイルアプリは、アンドロイド（現行バージョン（-2））とiOS（現行バージョン（-1））でのみ動作します。その他のバージョンでは、パフォーマンスの低下が予想されます。
- トリッパーのbluetoothはV4.2です。bluetooth接続が切れると、トリッパーの時刻表示とモバイル機器の実際の時刻表示がずれることがあります。
- REモバイルアプリは、Bluetooth V4.2およびN+1.0に対応しています。
- ナビゲーションの遅れがある場合、ネットワークの電波強度を確認してください。
- ナビゲーションの動作が不安定になる場合は、データ通信速度を確認してください、ナビゲーションの性能は、4Gバンドの方が他の下位バージョンに比べて優れています。
- GPSの精度を上げるために携帯電話の校正を頻繁に行う＆位置情報の精度は依存します。

チャージャーポート

- 左サイドパネルの内側に充電口があります。



警告

- スマートフォンや充電器へのダメージを避けるため、雨天時は使用しないで下さい。Royal Enfield社は、スマートフォンの損害について一切の責任を負いません。
- 携帯電話以外の機器を使用しないでください、また、一度に充電できる携帯電話は1台のみです。
- USBケーブルが正しく挿入されていることを確認してください ケーブルが硬く挿入されていたり、誤って挿入されていたりすることによる損害は保証の対象となりません。
- 使用していないときは、短絡を防ぐためにUSBポートのキャップを半開き/閉じたままにしないでください。
- ショートの原因となる金属や導電性物質をUSB充電ポートに挿入しないでください。

注意

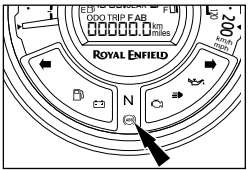
- 充電ポートは充電のみを目的としており、データ転送はできません。
- 提供されるのは常時充電モードのみで、急速/ダッシュ充電は複数のメーカーの携帯電話に対応しておらず、純正のスマートフォン用充電器の性能と比較することはできません。
- スマートフォンのメーカーによっては、充電時間が長くなったりスマートフォンのバッテリー容量やSOC、スマートフォンの充電回路によっては、充電時間が長くなったり短くなったりする場合があります。

注意

- USBポートのキャップが破損していたり、適切にシールされていない場合、保証は受けられません。
- 2.5A以上の大電流が流れた場合、USB充電器はシャットダウンするため、ご使用前にスマートフォンのバッテリーの定格電流をご確認ください。
- USB充電器は、エンジンが作動している状態でのみ機能します。
- 正しく機能するためには、標準的な認可を受けた高品質のUSBケーブルを使用してください。

警告表示と安全システム

アンチロックブレーキシステム(ABS)



- アンチロック・ブレーキ・システム（ABS）は、高速走行時や摩擦係数の低い路面での急なブレーキ操作時に、車輪がロックするのを防ぐのに役立ちます。これにより、ライダーのトラクションとモーターサイクルのコントロールが向上し、事故の原因となるモーターサイクルの横滑りを防ぐことができます。
- ライダーが急に強くブレーキをかけた場合、ブレーキシステムのセンサーがABSモジュレーターに信号を送り、油圧を瞬間的かつ継続的に減少させることで、ブレーキによる車輪のロックを防ぎ、車両の速度を低減させます。これにより、ライダーはバイクをコントロールしやすくなります。
- ABSが故障した際にライダーに警告するために、ABSインジケーターランプがクラスター内に設置されています（隣の画像参照）。
- イグニッションスイッチとエンジンキルスイッチを ON ポジションにすると、ABSサインが光り、ONのままになり、モーターサイクルの速度が5 km に達してOFF になるまで、ONの状態が続きます。これは、ABSが正常に機能していることを示しています。ABSインジケーターランプが“OFF”にならず、高速走行時にも“ON”の状態が続く場合は、ABS付きモーターサイクル運転しないことをお勧めします。最寄のRoyal Enfield正規ディーラーで、ブレーキシステムの点検と整備を受けてください。これを怠ると、重大な怪我や命を失うことになります。

警告表示と安全システム

注意 (ABS)

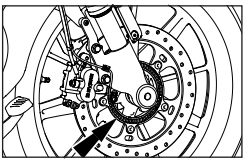
- ABSは、ブレーキ操作時のパニックによる、車輪のロックを防ぐための安全機能です。決して良い乗り方や予期せぬブレーキングに代わるものではありません。
- 特にコーナリング中は、ブレーキ操作に注意し、慎重に走行してください。ABSは、コーナリング中のモーターサイクルの"重量移動"や"運動量"を推定することができないため、トラクションの低下による横滑りを防ぐことができません。
- 走行速度に応じた停止距離を想定し、余裕を持ってブレーキをかけ、安全に停止できるようにしてください。
- ABSシステムには計器盤が不可欠なので、計器盤が正常に機能していることを確認してください。
- 両方のブレーキを同時にかけて、モーターサイクルのトラクションとコントロールを高めて停止してください。
- 上記を守らないと、重大なケガや命を落とす事故につながる恐れがあります。

警告

- ABS が正しく作動するように、必ずRoyal Enfield 社が承認したフロント / リアタイヤおよびリアスプロケットを使用してく ださい。
- サスペンショントラベルを変更しないでください。
- ブレーキシステムには、Royal Enfieldが承認した推奨スペアパーツのみを使用してください。
- ABSは制動距離を短縮するものではありません。特定の状況下では、ABSによって制動距離が長くなることがあります。

警告表示と安全システム

注意 (ABS)



- フロントとリアのABSトーンリングの歯が損傷していないか目視で確認してください。
- リングの表面に損傷やへこみがないか確認してください。
- リングの縁は、見た目が一定であることが望ましいです。トーンリングが損傷したり曲がったりしているのが見つかった場合は、最寄りのRoyal Enfield正規ディーラー 行って必要な処置をしてもらうことをお勧めします。
- フロントとリアのホイールスピードセンサーの端にゴミがないかどうかを点検しますゴミが見つかった場合は、適切に除去するか、最寄りのRoyal Enfield正規ディーラー 行って必要な処置をしてもらうことをお勧めします。

ロールオーバーセンサー

エンジンがかかっていてギアが入っている状態で、モーターサイクルが左右どちらかに倒れた場合、ロールオーバーセンサーが燃料システムを“無効“にし、エンジンをOFFにします。これは、バイクやライダーへのダメージを防ぐためです。ロールオーバーセンサーをリセットし、燃料システムを再起動するには、以下の手順に従います。

- バイクがセンタースタンドでまっすぐ立てられていることを確認してください。
- ギアが正しくニュートラルに入っているか、計器クラスターのニュートラルランプが光っているかを確認してててて
- イグニッションスイッチとストップスイッチの両方をOFFにして数秒待ち、再度イグニッションスイッチとストップスイッチをONにすると、エンジンが始動します。

すべきこととすべきでないこと：(ABS)

すべき	すべきでない
■ エンジンを始動させたら、ABSインジケーターがONになり、車速が5 km を超えるとOFFになることを確認してください。 ■ フロントとリアのブレーキリザーバ内のブレーキフルードレベルを確認し、ブレーキシステムに漏れがないことを確認してください。 ■ 効率を上げるために、両方のブレーキを同時にかけてください。 ■ ABSインジケータがONのままの場合は、お近くのRoyal Enfield正規ディーラーで、ブレーキシステムの点検を受けてください。	■ 緊急時にブレーキを強くかけている時に脈動を感じたら、ブレーキレバー/ペダルを離さないでください。脈動はABSが作動していることを示しています。 ■ フロントブレーキやリアブレーキだけをかけかけないで下さい。

運行前 点 検

乗車前、特に長期の保管後は、以下の点を毎回入念にチェックし、追加整備が必要かどうかを判断する必要があります。

1. 計画した旅程に必要な燃料が十分にあること。
2. タイヤの空気圧が適正かどうか、擦り傷や切り傷がないかどうか。
3. チェーンに適切な張りがあるか、十分な潤滑が行われているかを確認します。
4. ブレーキ、クラッチ、ステアリング、スロットルの応答性が適切かどうか。
5. 前後のブレーキレバーにスムーズな操作性と遊びがあること。
6. エンジンオイル量点検
7. ヘッドランプ、テールランプ、ブレーキランプ、インジケーターランプが正常に機能しているか。
8. インストルメントクラスター内のすべての警告ランプが正常に機能していること。
9. ブレーキフルードの液面がマスターシリンダーの“MIN”マークより上にあること。
10. クラッチの遊びとクラッチの機能を確認する。

⚠ 警告

お客様の安全のために、上記のすべてのポイントを定期的に実行する必要があります。これを行わないと、安全な運転に支障をきたし、モーターサイクルに損傷を与え、重傷事故や死亡事故を引き起こす可能性があります。

慣 ら し 運 転 期間

Royal Enfieldのモーターサイクルを体験していただくと分かりますが、安定した高速走行が可能です。し か し 、他の新しいモータサイクルと同様に、 慣らし運転が必要です。 バ イ ク の 様 々 な 可 動 部品 を 適 切 に 馴染ませて下さい。

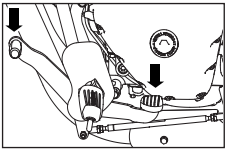
1. 最大積載荷重を超えないようにしてください。
2. モーターサイクルに乗る前に、アイドリングスピードで数分間エンジンを暖機し、エンジンオイルがエンジン内のすべての可動部品を潤滑するようにしてください。ブレーキ、ステアリング、スロットルが適切に反応するかどうか。
3. フルスロットルでの走行は避け、連続してスロットルを開けた状態での走行はしないでください。走行中は速度を10%ほど変化させるようにしてください。
4. 適切な速度で走行し、急加速や急ブレーキは避けましょう。
5. 1時間以上の連続走行は避け、短時間の休憩を取ることをお勧めします。

注意

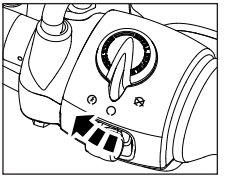
慣らし運転期間中は以下を超えないようにしてください。エンジンのパフォーマンスを最適化するための速度制限。

装備	バイクの速度			
	最初の500km（0〜311マイル）		501 〜 2000 km（311 〜 1242 マイル）	
	kmph	mph	kmph	mph
1	35	22	50	31
2	50	31	70	43.4
3	60	37.2	90	56
4	70	43.4	110	68.3
5	80	50	120	75
6	90	56	130	81

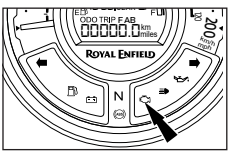
始 動



- ギアをニュートラルにするには、バイクを前後に静かに動かし、同時にギアを変更します。ギアがニュートラル位置にあり、計器クラスターのニュートラルランプが点灯していることを確認してください。
- イグニッションキーをONの位置に回し、右ハンドルバーにあるエンジンキルスイッチを“RUN”位置にします。

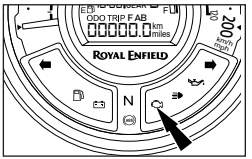


- イグニッションスイッチとエンジンキルスイッチの両方がON の位置にあり、車両を始動させると、 MILが数秒間点灯した後、OFFになります、これは、電子燃料噴射（EFI）システムのすべての機能が正常に動作していることを示しています。EFIシステムに何らかの不具合が発生した場合、MILは継続的に光ります。



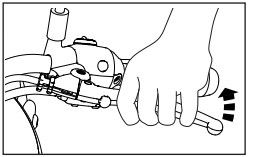
始 動

注意

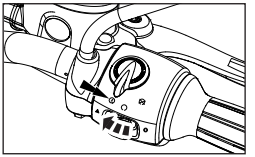


- 誤作動インジケータがOFFにならない場合は Royal Enfield正規ディーラーでモーターサイクル点検を受けて下さい。
- 燃料タンクに十分な燃料が入っているかどうかを、クラスタ内の燃料レベルインジケータで確認します。最後のバーが連続して点滅している場合は、タンク内の燃料レベルが低いことを示しています。すぐに給油してください。

- クラッチレバーを引いてクラッチを切り、押したままの状態にします。



- エンジンが始動するまで、電動スタートスイッチを最長 5 秒間押し続けてください。



始 動

注意

- 5秒以内にエンジンがかからない場合は、スタータースイッ チを解除し、約5秒待ってから再度エンジンをかけてくださ い。
- 何度やってもエンジンがかからない場合は、一度イグニッションスイッチをOFFにしてからONにして、再度エンジンをかけてください。

注意 事項

- サイドスタンドの状態でも車両は始動しますが、ギアを入れるとエンジンは停止します。このサイドスタンドカットオフ機能はライダーの安全のために設けられており、車両の移動/始動前には必ずサイドスタンドを格納してください。

注意

- スタータスイッチを長時間押し続けたままにしないでください。これによりバッテリーが上がり、10V以下になることがあります。始動しない原因を突き止め、改善するために、Royal Enfield正規ディーラーでモーターサイクルの点検を受けてください。
- 特に寒冷時には、エンジンが始動してもすぐに加速しないでください。エンジンオイルを循環させて内部の可動部品を潤滑し、エンジン温度を上昇させるため、少なくとも約２分間はアイドル回転数で暖機運転をさせる必要があります。この重要な情報を無視すると、エンジン内部に重大な損傷を与える可能性があります。

■ アイドリング回転数が安定してから加速してください。

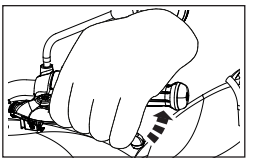
警告

モーターサイクルの運転中は、細心の注意を払ってください。注意を怠ると、自分自身や他の道路利用者や通行人に怪我をさせる事故を引き起こしかねません。

■ ギアニュートラル位置にあり、計器クラスターのニュートラルランプが点灯していることを確認してください。ギアをニュートラルにするには、バイクを前後に静かに動かし、同時にギアを変更します。

注意

モーターサイクル前後に動かさずにギアを変えようとすると、ギアの機構を損傷することがあります。

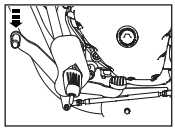


■ クラッチレバーを握ったままにしておきます。

■ スターターボタンを押し、エンジンが始動するまで押し続けてください。エンジンが始動する前にボタンを離さないでください。

■ スターターボタンを５秒以上押さないで下さい。３回連続してクランキングした後、１５～２０秒待つとバッテリーが回復します。

ギアシフト、ライディング、停止



ギアチェンジを行う前に、必ずクラッチレバーを完全に握ってください。クラッチレバーを完全に握っていないと、エンジンが始動不良を起こしたりエンストすることがあり、トランスミッション部品に損傷を与えることがあります。

- 車両がニュートラルの位置にあるとき、ギア シフト レバーをつま先で押し下げて 1 速に入れます。
  ギ ア シ フ ト パ タ ー ン
  1 -- N -- 2 -- 3 -- 4 -- 5 -- 6
- 1速で市街地走行（アイドリングに近いエンジン回転数）をする場合は、半クラッチでの使用をお勧めします。他のギアや高RPMでは、半クラッチを使わないようにしてください このサイドスタンドカット機能は、ライダーの安全のために設けられています。加速／減速時には、クラッチを完全に切り、ギアをシフトしてから徐々にクラッチをつないでください（遅すぎない）。

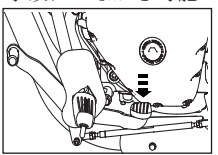
推奨シフトアップ速度		
ギアチェンジ	Kmph	Mph
1速 - 2速	25	16
2速 - 3速	35	22
3速 - 4速	45	28
4速 - 5速	60	38
5速 - 6速	75	47

推奨ダウンシフト速度		
ギアチェンジ	Kmph	Mph
6速 - 5速	70	44
5速 - 4速	55	34
4速 - 3速	40	25
3速 - 2速	30	19
2速 - 1速	20	13

ギアシフト、ライディング、停止

注意

- クラッチレバーを急に切ったり、スロットル を過度に開いたりすると、モーターサイクルが急速に動き出し、エンストすることがあり ます。
- 急加速をして、クラッチレバーを急に離すと、モーターサイクルが急に動き出し、制御不能に陥り、自分自身や他の道路の利用者、通行人に怪我をさせたり、命を奪ったり、モーターサイクルに損害を与えたりする事故につながる可能性があります。
- クラッチを切ってモーターサイクル運転するときは、必ず細心の注意を払ってください。
- １速の状態でモーターサイクルの速度が25 kmph /16 mphに 達したら、すぐに２速にシフト してください。



- ギアシフトレバーをかかとで踏み込み、速度が上がるにつれて2速以降のギアにシフトします。

注意

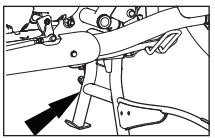
必ずギアをニュートラルにした状態でモーターサイクル始動させてください。

エンジン速度が低下してきたときや、勾配を登っているとき、または速度を落として走行しているときは、適切な低いギアにシフトして、エンジンがエンストしたり、無理に引っ張られたりするのを防いでください。

- モータサイクルを止めるために減速するときは、必ず適切な低いギアにシフトしてください。
- ギアは常にモータサイクルが完全に停止する直前にニュートラルポジションにシフトしてください。
- スロットルを全閉にし、クラッチレバーをゆっくりと離すと、モーターサイクルがニュートラルポジションになり、ニュートラルランプが点灯します。
- 安全な場所にモーターサイクルを止め、イグニ ションをOFFにして、エンジンキルスイッチをOFFにします。

駐 車

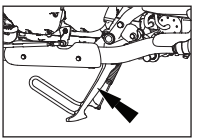
センタースタンドでの駐車



- モーターサイクルは、しっかりとした平らな面に真っ直ぐに駐車してください。
- ハンドルバーをまっすぐに持ってください。
- センタースタンドを下げて、スタンドの両脚がしっかりと地面についている事を確認します。
- センタースタンドの支点レバーに力をかけ、 モーターサイクルを後方に引いてください。
- ステアリングをロックし、ハンドルバーが完全にロックされていることを確認してから、イグニッションスイッチからキーを抜いてください。

サイドスタンドでの駐車

- 固く平らな場所を選びます。
- サイドスタンドを下します。モーターサイクルを左側に傾け、地面にしっかりと支え付けてください。



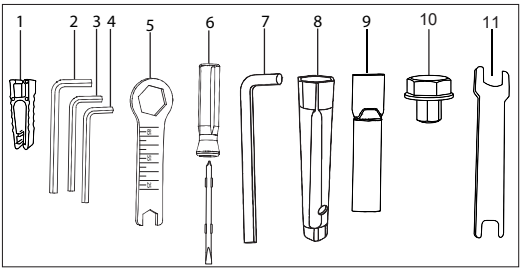
警告

- モーターサイクルに乗る前に、両方のスタンドが完全に格納されていることを確認してください。
- モーターサイクルが倒れてあなたや他の人を負傷させたり、モーターサイクルの部品に損傷を与えたりしないように、駐車時には十分な注意を払い、必ず平坦な場所に駐車してください。
- サイドスタンドは、バイクの重量にしか耐えられない設計になっています。サイドスタンドで駐車している時に、バイクの上に座らないでください。サイドスタンドやフレームが損傷し、モーターサイクルが転倒する恐れがあります。

ツールキット

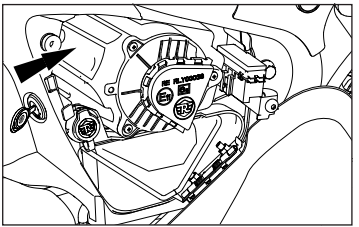
ツールキットは、モーターサイクルの左サイドパネルにあります。

Sl. 番.	説明	数量
1	ヒューズプーラー	1
2	六角レンチ 6 mm	1
3	六角レンチ 5 mm	1
4	六角レンチ 4 mm	1
5	リングスパナ24×14コンビ	1
6	スクリュードライバー（ダブルエンド）	1
7	トミーバー	1
8	スパークプラグスパナ	1
9	エクステンションチューブ	1
10	フロントスピンドルアダプター	1
11	オープンエンドスパナ 12 x 16	2



取扱説明書収納場所

■ オーナーズマニュアルは、左サイドパネルの中に保管してください。



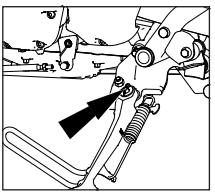
注意

■ 左サイドパネルに他の書類などを収納しないでください、エンジンの吸気口がふさがり、車両の性能に支障が出る可能性があります。

マイナーメンテナンスのポイント

以下の簡単なメンテナンスは、モーターサイクルの維持に役立ちます。ただし、完全なメンテナンスをご希望の場合は、Royal Enfield正規ディーラーにご連絡いただくことをお勧めします。

ハンドレバー、センタースタンド、サイドスタンドピボット

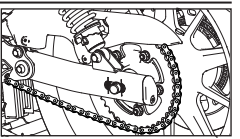


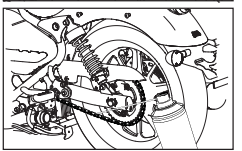
- ピボットポイントを清掃し、汚れや錆などがないことを確認してください。
- ピボットに潤滑剤を塗布してください。

注意

余分な潤滑油を拭き取り、汚れがたまらないようにしてください。

ドライブチェーン

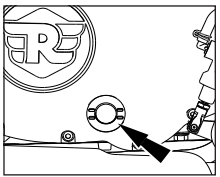




- リアホイールを回転させながら、ドライブチェーンに推奨されるチェーンクリーニング溶剤をスプレーしてください。
- ドライブチェーンが洗浄溶剤で十分かつ完全に覆われていることを確認してください。必要に応じて、適切なブラシを使用してチェーンに付着した硬い付着物を取り除いてください。
- 数分待ってから、チェーンの汚れや錆などを完全に落としてください。
- リアホイールをゆっくり回転させ、同時に推奨チェーン潤滑剤をチェーンリンクに塗布してください。
- 数分後に余分なチェーン潤滑油をきれいな布で拭き取ってください。

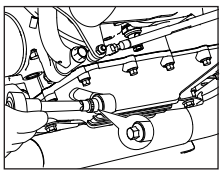
マイナーメンテナンスのポイント

エンジンオイルレベル点検



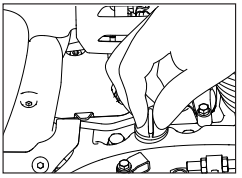
- 車両が地面に対してまっすぐな状態であることを確認してください。
- 車両を始動し、10 秒間ゆっくりとスロットルの約半分まで上げます。
- アイドリングスピードの状態で15秒間放置してください。
- エンジンをOFFにして、オイルが落ち着くまで10分ほど待ってください。
- エンジンオイルのレベルは、“MAX”の状態に近づけてください。
- オイルレベルが上記の状態でない場合は、オイルを“MAX”の状態まで補充し、この手順を繰り返してください。
- クラッチ機能に影響を与える可能性がありますので、“MAX”マーク以上には充填しないでください。

エンジンオイルの排出



- 車両が地面に対してまっすぐな状態であることを確認してください。
- エンジンオイルは、オイルの排出を早めるために、常にエンジンが十分温まっているときに排出する必要があります。
- オイルドレンボルトを外し、エンジンオイルが完全に抜けるまで5分以上待ってください。
- エンジンオイルの排出量は約2.1L～3.1Lです（排出量は走行キロ数によって異なります）。

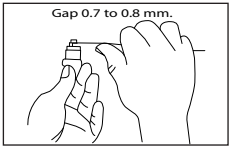
エンジンオイル排出後のオイル充填



- 車両が地面に対してまっすぐな状態であることを確認してください。
- クランクケース内のオイルフィルター接合面を清掃し、新しいオイルフィルターと新しいゴム製ガスケットを組み付けてください。
- オイルパンのオイルドレンホール接合面およびドレンボルトを清掃してください。
- 新品のワッシャーを使用してください。ドレンボルトを指定のロックタイトで組み付けてください。
- オイルフィラープラグを取り外し、クランクケースのオイルフィラーキャップ接合面およびフィラープラグを清掃してください。
- 指定された新しいエンジンオイルの量3.1 Lを補充してください。
- 新しいオイルフィラープラグO-リングを使用し、オイルフィラープラグをクランクケースに組み付けてください。

スパークプラグ

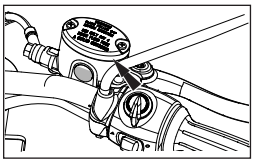
プラグギャップの清掃と調整



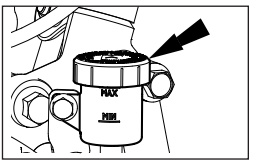
- スパークプラグキャップをスパークプラグから 外してください。
- スパークプラグのスパナを見つけ、スパークプラグを緩め、シリンダーヘッドから取り外してください。
- スパークプラグにカーボンが付着していないか、また中心電極に偏摩耗がないか確認してください。
- プラグの絶縁体チップと電極を丁寧に清掃してください。
- 電極間隙を確認し、0.7～0.8 mmに設定してください。
- スパークプラグは必ず推奨仕様にしたがって交換してください。

- スパークプラグの取り付け部とネジ部に“焼き付き防止剤“を薄く塗布し、手でスパークプラグを締め付けてください。
- ツールキットに含まれるスパークプラグスパナを使用して、スパークプラグを10 ～ 15 Nm の トルクで締め付けてください。

ブレーキフルードの点検



フロントブレーキ



リアブレーキ

固くて平らな場所に、モーターサイクル直立させます。

フロント: ブレーキフルードリザーバーが水平であり、フルードレベルがウィンドウの中央にあることが最小レベルと見なし、これを確認してください。

リア : ブレーキフルードリザーバが水平で、フルードレベルが“MAX”レベルマークと“MIN”レベルマークの間にあることを確認します。

注意

- ブレーキフルードは腐食性が高く、塗装された部品に損傷を与える可能性があります。モーターサイクルのどの部分であっても、ブレーキフルードがこぼれないようにしてください。万一、こぼしてしまった場合は、すぐに柔らかい布（できれば濡れた布）で拭いて、傷をつけないようにしてください。
- DOT 4と他のブレーキフルードを混ぜないでください。

マイナーメンテナンスのポイント

注意

- 取り外す前にフィラーキャップを清掃してください。密閉容器に入ったDOT 4ブレーキフ ルードのみを使用してください。
- 指定のブレーキフルード以外は使用しないでください、これを怠ると、ゴム製のシールが劣化して漏れの原因になります。
- 同じ種類のブレーキフルードを補充してください。DOT 4以外のブレーキフルードを入れると、有害な化学反応を起こすことがあります。
- ブレーキフルードを補充する際は、リザーバ内に水やほこりが入らないように注意してください。水分はブレーキフルードの沸点を著しく低下させ、ベーパーロックを起こす可能性があり、汚れはABS油圧ユニットのバルブを詰まらせる可能性があります。

警告

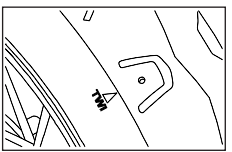
- ブレーキフルードの量が不足すると、ブレーキシステムの故障の原因となります。
- 古いブレーキフルードは制動効果を低下させます。
- 前後のブレーキのブレーキフルードは、定期整備表に基づいて必ず交換してください。
- ブレーキフルードは、子供の手の届かないところに置いてください。
- ブレーキフルードを皮膚や目、衣服に付着させないでください。
- ブレーキ液は腐食性が高く、塗装された部品に損傷を与える可能性があります。ブレーキフルードをモーターサイクルのどの部分にもこぼさないようにしてください こぼした場合は、損傷を避けるために、すぐに柔らかい布で拭いてください。

タイヤホイールの点検

- タイヤのトレッドが磨耗していないか、亀裂や切断がないかを定期的に点検してください。

最小限のトレッドの深さ：	
フロントタイヤ: 1 mm	リアタイヤ: 2 mm

- タイヤのトレッドに埋まっている石や破片、釘などを点検し、取り除きます。
- ホイールのリムの振れを定期的に点検してください。
- タイヤを組み立て直す際には、タイヤのビーディングがリムにきちんと収まっているかどうかを確認してください。
- 適正な空気圧に調整された推奨タイヤのみを使用してください。



タイヤ空気圧	フロント	リア
ソロ	41 psi/2.88 kg/cm²	36 psi/2.53 kg/cm²
パッセンジャー付き	41 psi/2.88 kg/cm²	41 psi/2.88 kg/cm²

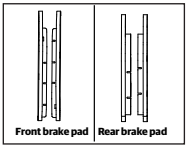
警告

- タイヤの空気圧が低すぎると、タイヤが過熱してタイヤに損傷を与え、ライダーが負傷する恐れがあるため、適切なタイヤ空気圧でモーターサイクル運転することをお勧めします。
- 新品のタイヤに交換する際は、Royal Enfield社推奨のタイヤ仕様にすることをお勧めします、タイヤは、Royal Enfield社推奨のタイヤと同じ仕様のものを使用することをお勧めします、同じ仕様のタイヤを使用しないと、タイヤが損傷したり、ライダーが負傷したりすることがあります。

マイナーメンテナンスのポイント

ブレーキパッド

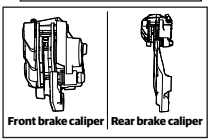
■ フロントとリアのブレーキパッドは、定期点検表に記載されている間隔で摩耗をチェックする必要があります。



フロント/リア: ブレーキパッドがインジケータまで摩耗したらパッドの交換が必要です。

注意

■ Royal Enfield社製のモーターサイクルは、最適なブレーキシステムを持ち、あらゆる条件下でより優れた安全なブレーキ性能を発揮するよう設計されています。



■ ディスクブレーキシステムは、一部の走行条件下で軽度のノイズを発生することがあります。これは、モーターサイクル業界全体におけるディスクブレーキパッドの特徴であり、ごく当たり前のことです。これは、モーターサイクルやブレーキシステムの性能に影響を与えるものではあり ません。

■ Royal Enfieldでは、堅牢で厳格な試験と開発プロトコルを持ち、品質と耐久性に関するグローバルな検証基準を遵守しています。私たちは、お客様に最高のモーターサイクル所有体験を提供することをお約束します。

ブレーキベッドイン手順

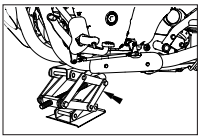
■ 最適な摩耗や異常なブレーキノイズを防ぐために、新しいブレーキパッドとディスクを寝かせる必要があります。200マイルまたは300キロメートルのライディング、理想的には都市のライディングであり、高速道路の巡航ではなく、このプロセス中に、このプロセス中にパッドが入ります。 、ブレーキは頻繁に使用する必要があります。最初のいくつかのストップ中にブレーキを軽く塗り、プロセス中のベッド全体にブレーキング力を徐々に増加させます。ブレーキをブレーキアプリケーション間で冷却するようにしてください。

注意

手順の寝具は、優先されてはなりません 道路状況に適切にブレーキを使用します。

マイナーメンテナンスのポイント

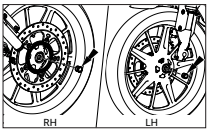
フロントホイールの取り外し





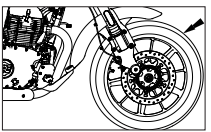


- モーターサイクルが固く平坦な地面に直立していることを確認してください。
- エンジンの下にシザージャッキを置き、フロン トホイールが地面から最低15 cm離れるようにモーターサイクルを持ち上げてください。
- 左手側フロントフォークアッセンブリからフォーククランプボルトを工具キットに含まれる6 mm六角レンチで緩め、取り外してください。
- 工具キットに含まれるフロントスピンドルアダプター、リングスパナ、エクステンションチューブを使用して、”左手側”フロントフォークアッセンブリからスピンドルボルトを緩め、取り外してください。
- スピンドルのネジを完全に緩めたら、左手側から手でゆっくりと引き抜いてください。
- ホイールがフォークの脚から出るように、ゆっくりと下げてください。
- フロントホイールのハブから左右のスペーサーを外してください。



注意

スピンドルをフォークから取り外す際、ホイールスペーサーとスピードセンサーを固定するよう注意してください。



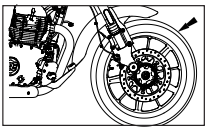
注意

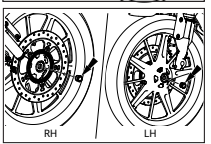
フロントホイールを取り外した状態でブレーキレバーを握ると、ブレーキパッドがブレーキキャリパーからはみ出ることがあります。

- ブレーキパッドの間に厚さ4 mmの木片や段ボールを挟むと、万一フロントブレーキレバーを握ってしまった時に、パッドが作動するのを防ぐことができます。
- ブレーキシステムやABSに影響を与えるので、フロントブレーキディスクやトナーリングに傷をつけないように注意してください。

フロントホイールアッセンブリ

- ブレーキパッドの間に挟んである木片/段ボールを取り外してください。
- 左右のホイールハブにスペーサーを取り付けてください。
- フォークエンドの間にスペーサーと一緒にホイールを挿入してください。ブレーキディスクがブレーキパッドの間にあることを確認してください。
- スピンドルをフォークの脚とホイールの間に通すことができる高さで、ホイールを支えてください。スピンドルを左手側から挿入し、スピンドルのネジ山が右手側のフォークレッグのネジ山と噛み合うまで押し、完全に収まるまでスピンドルをねじ込んでください。
- スピンドルボルトを左手側で65 Nmのトルクでしっかりと締め付けてください。







- フォーククランプボルトを左手側で23 Nmのトルクでしっかりと締め付けてください。
- ホイールを回転させ、滑らかに回転することを確認してください。
- ブレーキレバー握って、フロントブレーキの効きを確認してください。

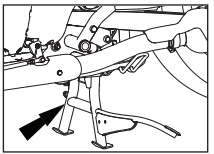


注意

- モーターサイクルのフロントホイールを組み立てる際には、十分に注意してください。
- モーターサイクルに乗る前に、ホイールが正しく装着されていることを確認してください。
- これを怠ると、モーターサイクルが正しく機能しなくなり、あなたや他の道路利用者を負傷させる事故や人命の損失を招く恐れがあります。

マイナーメンテナンスのポイント

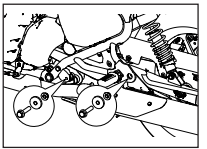
リアホイールの取り外し



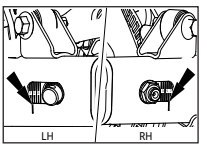
- モーターサイクルが、しっかりとした平らな面の上に真っ直ぐに置かれていることを確認してください。
- センタースタンドを下げてください。
- 左手側のサイレンサー取付ボルトを外してください。

注意

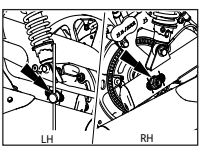
- 左手側のサイレンサー取付ボルトを外してください。エンジンを止めた直後に、排気管やサイレンサーに対していかなる作業も行わないでください。非常に高温になるので、大怪我をする可能性があります。サイレンサーが完全に冷えるまで必ず待ってください。



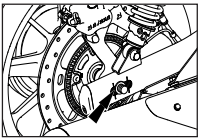
- リアエンドサイレンサー取付ブラケットから六角フランジボルトを緩めて外してください。
- フロントエンドサイレンサー取付ブラケットから六角フランジボルトを緩めて外してください。

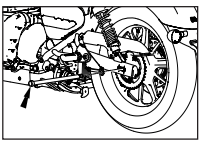


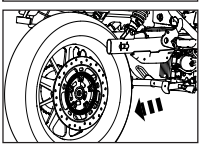
- 左右のスイングアームにあるチェーンアジャス ターのアライメントインデックスを観察し、印を つけてください。
- 左右のチェーンアジャスターのロックナットとアジャスターナットを完全にゆるめてください。
- 左側のホイールスピンドルをしっかりと持ち、右側の六角ナットを緩めてください。



- ホイールスピンドルからナットとワッシャーを取り外してください。
- リアホイールをスイングアームに完全に押し込んでください。
- リアホイールを下から支え、左側のスイングアームからホイールスピンドルを引き抜いてください。
- リアホイールを下から支え、左側のスイングアームからホイールスピンドルを引き抜いてください。



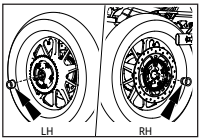




注意

ブレーキホースを取り外す際に、ブレーキホースが破損したり、よじれたりしないように注意してください。
キャリパーアッセンブリを適切に、スイングアームから離して支えてください。

- リアホイールを取り外すときは、スプロケットから チェーンを外し、詰まらせたり傷つけたりしないようにしてください。
- ホイール底部のサポートを取り外し、リアスプロケット、ブレーキディスク、スペーサーを装着したリアホイールをスイングアームからゆっくりとスライドさせてください。



注意

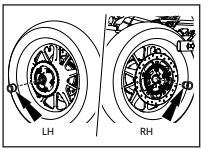
リアホイールを取り外す際にリアブレーキペダルを踏んでしまうと、ブレーキパッドがブレーキキャリパーから外れてしまいます。

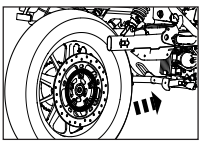
- ブレーキパッドの間に厚さ4 mmの木片または段ボールを挟み、リアブレーキペダルを誤って踏んでもブレーキパッドが作動しないようにしてください。

注意

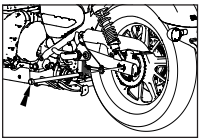
いかなる理由があっても、リアブレーキペダルを引き上げてモーターサイクルを持ち上げ たり、起こしたりしないでください。

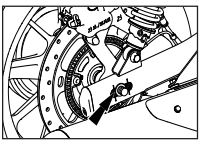
リヤホイールアッセンブリ

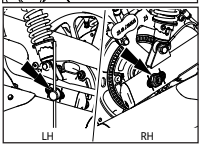




- 段付きスペーサーがブレーキディスク側にあることを確認し、スペーサーのリップがベアリングシールに挿入されていることを確認してください。
- スペーサーがホイールハブのスプロケット側に沿って配置されていることを確認してください。
- チェーンアジャスターがスイングアーム左右の内側に正しく配置されていることを確認してください。
- キャリパーアッセンブリをスイングアーム右側のタブにセットしてください。
- スプロケットが左側に、ブレーキディスクが右側のブレーキパッドの間になるようにリアホイールを配置してください。
- リアホイールを持ち上げ、チェーンアジャスターのスイングアームブレーキキャリパーブラケットの穴の溝とハブの中心の穴が合っていることを確認してください。
- リアホイールを適切に支え、リアホイールスピンドルを左側スイング アームに沿わせてホイールハブに挿入してください。
- スピンドルをホイールハブの溝に、右側のネジ山が完全に見えるまで軽く叩き込んでください。

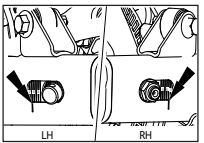






マイナーメンテナンスのポイント

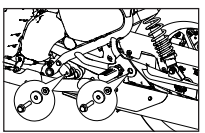
- ドライブチェーンをスプロケットに組み付け、正しく装着されていることを確認してください。
- リアホイールが自由に滑らかに回転することを確認してください。
- 右側のホイールスピンドルにワッシャーと六角ナットを組み付けてください。



注意

六角ナットは完全に締め付けないでください。

- 左右のアジャスターのチェーンアジャスターナットを締め、スイングアームの両側にあるインデックスマークが正しく揃うようにしてください。



- チェーンの張りとホイールのアライメントが正しいことを確認てください。
- スピンドルの左側をしっかりと持ち、右側の六角ナットを70 Nmのトルクで締め付けてください。
- スイングアーム右側のキャリパーアッセンブリの位置を確認してください。
- リアブレーキが適切に作動しているか点検してください。

注意

モーターサイクルのリアホイールを組み立てる際 には、十分に注意してください。

モーターサイクルに乗る前に、ホイールが正しく装着されていることを確認してください。

これを怠ると、モーターサイクルの性能が低下し、あなたや他の道路利用者を負傷させ たり、命を落としたりする事故につながる恐れがあります。

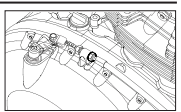
マイナーメンテナンスのポイント

クラッチケーブルの遊びの点検／調整

- クラッチケーブルの遊びは、クラッチの寿命に大きく影響しますので、必要な時に調整することをお勧めします。

クラッチレバーの遊びの点検

- 遊びはクラッチレバーのボールエンドで測定し、ハンドルが左手側の位置にあるとき9-12 mmである必要があります（画像**A**を参照）。まっすぐかどうかは、10-20°mmのところで確認してください（画像**B**参照）。
- 以下の手順で調整してください。



注意

測定前にクラッチレバーを3回作動させてください。

微調整–クラッチケーブルレバーエンド

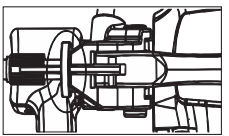
- クラッチケーブルレバーエンドで遊びの微調整が可能です。
- ケーブル外側のロックナットを緩めてください。
- ナットを時計回りに回すと遊びが小さくなり、反時計回りに回すと遊びが大きくなります。
- 調整後、ロックナットをしっかりと締め付けてください。
- 調整後、遊びを確認し、作動の状態を確認してください。

主要な調整–クラッチケーブルカバーエンド

- クラッチケーブルカバーエンドで遊びの主要な調整が可能です。
- ケーブル外側のロックナットを緩めてください。
- ナットを時計回りに回すと遊びが小さくなり、反時計回りに回すと遊びが大きくなります。
- ツールキットに含まれる12 mmスパナでロックナット2個をしっかりと締め付けてください。調整終了後。
- 調整後、遊びを確認し、仕様の適合を確認してください。

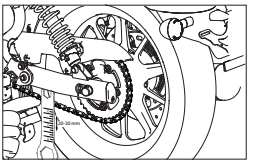
マイナーメンテナンスのポイント

注意



- もし、この手順で調整できない場合は、お近くのRoyal Enfield 正規ディーラーまでお越しください。
- もし、希望する遊びが得られない場合、またはクラッチが滑る疑いがある場合は、遊びがある状態のままにして、最寄りのRoyal Enfield 正規ディーラーまでご連絡ください。
- アジャスターナットは、ねじ部に正しく固定されている必要があります。オーバーハングなし（参考画像）
- クラッチの遊びは、エンジンが冷えている時にのみ点検および調整する必要があります。
- クラッチの遊びを確認する際、乗車状態でクラッチケーブルに異常がないかを確認してください。
- 異常が疑われる場合は、最寄りのRoyal Enfield 正規ディーラーまでご連絡ください。

ドライブチェーンテンション（遊び 20 ～ 30㎜）



- モーターサイクルを平らな場所に正しく駐車してください。
- モーターサイクルがニュートラルであることを確認してください。
- ドライブチェーンの遊びを図のように測定してください。ドライブチェーンの遊びは20-30 ㎜です。
- ドライブチェーンの遊びが不適切であることが判明した場合、以下のように調整してください:

a. リアホイールの軸のアクスルナットを緩めてください。

b. ツールキットに入っている6 ㎜六角レンチで、スイングアームの左手と右手のチェーンアジャスターを締め付けてください。

c. 遊びを減らすには、アジャスターボルトを均等に締め付けてください。

d. 遊びを大きくするには、アジャスターボルトを均等に緩め、リアホイールを前に押し出してください。
e. チェーンの張りが正しいかどうか、点検してください。
f. アジャスターとスイングアームのインデックスマークが左右で同じであることを確認してください。
g. スピンドルを左側にしっかり持って、後部の六角ナットを70Nmのトルクで締め付けてください。
h. ツールキットに入っている6 mm六角レンチで、スイング アームの左手と右手のチェーンアジャスターを締め付けてください。

⚠ 警告

チェーンのたるみが30 mmを超えると、チェーンの滑りを引き起こし、チェーンやスプロケットの摩耗率を高める原因になります。
チェーン調整後、リアホイールのスピンドルナットを締める前に、両輪が正しく配置されていることを確認してください。

バッテリーとメンテナンス

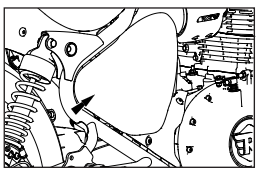
- モーターサイクルには、12V-12 AhのVRLAバッテリーが装備されています。
- バッテリーは定期的に点検して清潔さと腐食していないかどうか、定期的に確認してください。

注意

バッテリー端子の接触不良や緩みは、ECUの故障の原因となることがあります。

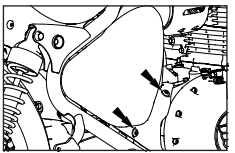
分解

- エンジンを “OFF” にし、イグニッションキーをキーバレルから取り外してください。
- バッテリーは右サイドパネルの内側にあります。

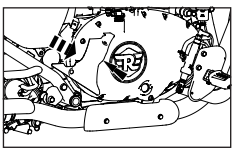


マイナーメンテナンスのポイント

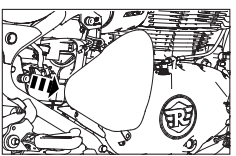
- ツールキットにある5 ㎜六角レンチを使用して、左手側リザーバーパネルのボタンヘッドスクリュー2個を緩めて取り外してください。



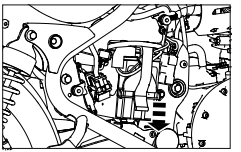
- 右サイドパネルからリザーバーパネルを取り外してください。



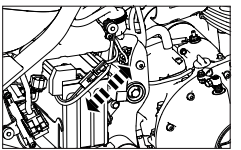
- サイドパネルを外側に引き出すと、同じように開けることができます。



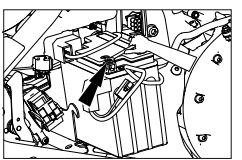
- バッテリーストラップ（ベルト）を下方に引き、バッテリーストラップブラケットからストラップブロックを解除してください。



- 黒のマイナス（-ve）カプラーを外してください。

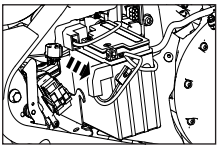


- 10 ㎜スパナを使用して、バッテリーの黒のマイナス（- ve）端子ボルトを外してください。

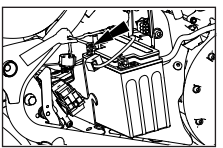


マイナーメンテナンスのポイント

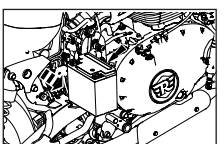
■ バッテリーの外側に少しスライドさせて、（+ ve）端子のボルトを外してください。



■ 10㎜スパナでバッテリーの赤のプラス（+ ve）端子ボルトを外してください。



■ トレイからバッテリーを取り外してください。



⚠ 警告

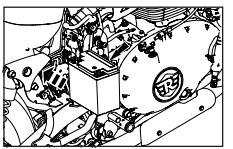
バッテリーの接続を外すときは、必ず最初に黒のマイナス（-ve）ケーブルを外し、次に赤のプラス（+ve）ケーブルを外してください。

注意

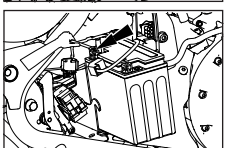
バッテリー電圧の確認は、Royal Enfield正規ディーラーまでお問い合わせください。

アッセンブリ

■ バッテリーをトレイに組み付けてください。

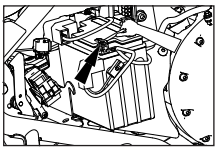


■ バッテリーの赤のプラス（+ve）端子ボルトを接続してください。

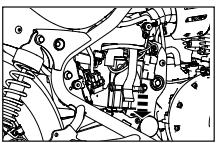


マイナーメンテナンスのポイント

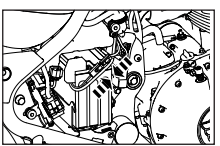
- バッテリーの黒のマイナス（-ve）端子ボルトを接続してください。



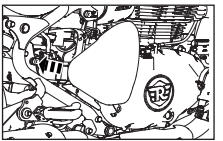
- バッテリーストラップ（ベルト）を下方に引き、ストラップロックをバッテリーストラップブラケットにはめ込んでください。



- 黒のマイナス（-ve）カプラーを接続してください。
- サイドパネルをフレームにはめ込んでください。
- 右サイドパネルのリザーバーパネルの位置を確認してください。

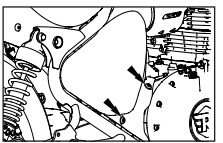


- 右手側リザーバーパネルのボタンネジ2個を 締め付けてください。



注意

赤のプラス端子を接続した後、黒のマイナス端子を接続し ます。



注意

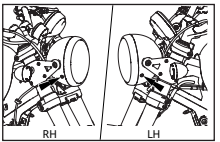
端子の腐食を防ぎ、端子にワセリンを塗っておきます。

注意

赤の（+ve）プラス端子と（-ve）マイナス端子のケーブルは、それぞれのバッテリー端子にしっかりと接続されていることを確認してください。そうしないと、モーターサイクルの電気系統に損傷を与えることがあります。

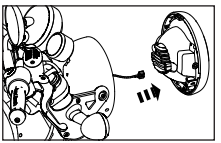
電気部品の交換

ヘッドランプの分解



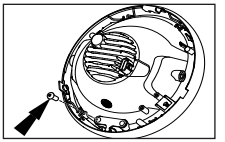
- 工具キットに含まれるドライバーを使用して、ヘッドランプの取り付けネジをゆっくりと緩め、ヘッドランプカウルから両側とも取り外してください。
- リフレクターアッセンブリと一緒にヘッドランプリムをゆっくりと引き抜きます。
- ヘッドランプカプラーを外します。
- 工具キットに含まれるドライバーでヘッドランプカウルからヘッドランプリムスクリュー2本をゆっくりと緩めて外してください。
- ヘッドランプ保持クリップ 4 個をヘッドランプリム からゆっくりと外してください。
- ヘッドランプからリムを取り外してください。

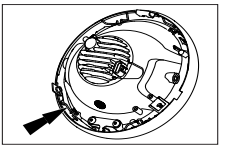


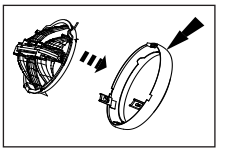


注意

- ヘッドランプはLED照明方式を採用しています。故障した場合は、ヘッドランプLEDアッセンブリを交換する必要があります。
- Royal Enfield正規ディーラーに連絡し、同じものを交換してください。

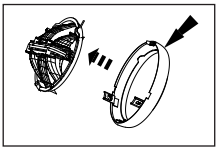




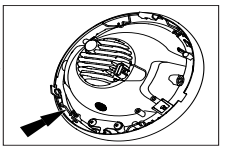


ヘッドランプアッセンブリ

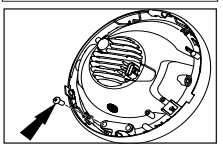
- リムをヘッドランプに組み付けてください。



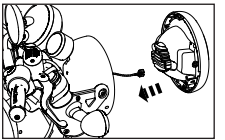
- ヘッドランプホールディングクリップ4個をヘッドランプリムに固定してください。



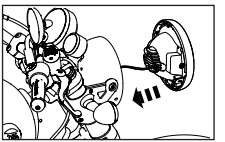
- ヘッドランプリムスクリュー2本をヘッドラン プカウルに締め付け、再び取り付けてください。



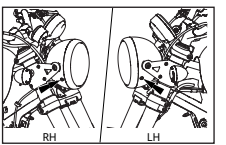
- ヘッドランプカプラーを接続してください。



- リフレクターアッセンブリと一緒にヘッドランプリムを再装着してください。

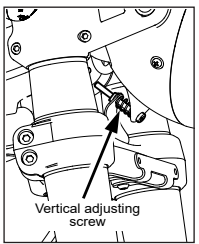


- ドライバーでヘッドランプ取付ネジの両側を締め付け、ヘッドランプカウルに取り付けてください。



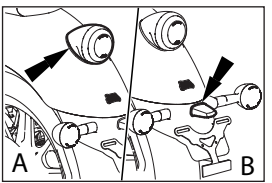
マイナーメンテナンスのポイント

ヘッドライトビームの調整



- ヘッドライトビームの焦点は、調整ネジを使って時計回りまたは反時計回りに回すことで、上下方向に調整することができます。
- 調整ネジは、ヘッドライトビームの高さを上下方向に調整する為のものです。これは、視界を広げるためと、他のライダーや車の目を眩ませないようにするために必要な場合があります。

テールランプ&ライセンスプレートイルミネーター

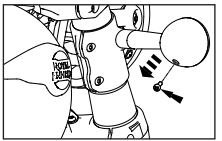


- テールランプ（A）&ライセンスプレートイルミネーター（B）は、LED照明システムを採用しています。故障した場合は、テールランプ（A）とライセンスプレートイルミネーター（B）のアッセンブリ全体を交換する必要があります。
- Royal Enfield正規ディーラーに連絡し、同じものを交換してください。

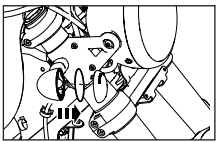
マイナーメンテナンスのポイント

ウィンカーバルブの 取り外し

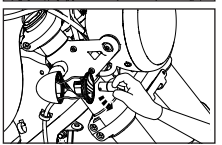
- クリュードライバーを使用して、ウィンカーアッセンブリのネジを緩め、取り外してください。



- ウィンカーアッセンブリからレンズカバーとグロメットを取り外してください。

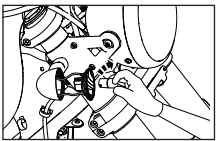


- ゆっくりと押しながら時計回りに回すと、ホルダーからバルブが外れます。

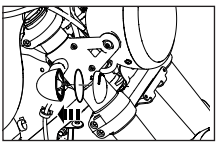


トラフィケーター電球アセンブリ

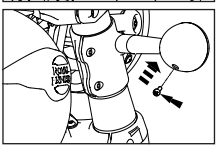
- 軽く押しながら時計方向に回すと、バルブがホルダーに固定されます。



- レンズカバーとグロメットをウィンカーアッセンブリの中に入れてください。

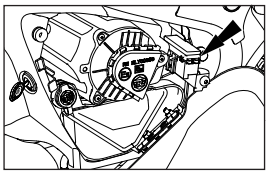


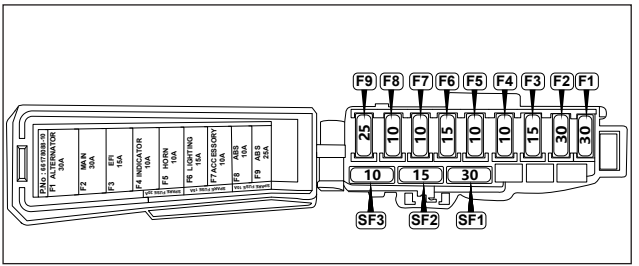
- ウィンカーアッセンブリにネジを締め付けてください。



ヒューズおよびヒューズキャリア

- ヒューズキャリアは、左サイドパネルの内側にあります。
- イグニッションキーを挿入し、反時計回りに回してください。
- サイドパネルを外側に引き出すと、同じように開けることができます。





ミニブレードヒューズ使用リスト

ヒューズID番号	色	レーティング	備考
F1	GRE	30 A	充電システム
F2	GRE	30 A	メインヒューズ
F3	BLU	15 A	EFI
F4	RED	10 A	インジケーター
F5	RED	10 A	ホーンヒューズ
F6	BLU	15 A	照明システム
F7	RED	10 A	アクセサリー
F8	RED	10 A	ABSヒューズ-1
F9	WHT	25 A	ABSヒューズ-2
スペアヒューズリスト			
SF1	GRE	30 A	スペアヒューズ
SF2	BLU	15 A	
SF3	RED	10 A	

警告

ヒューズが切れたら、すぐにモーターサイクルの電気系統を点検し、故障を修理してください。これを怠ると、ヒューズの故障を繰り返すことになります。

指定された定格以外のヒューズを使用したり、他の導電材料や低グレードのヒューズを使用すると、電気系統全体が損傷します。

ホルダーの予備ヒューズを早めに交換するようにしてください。

ヒューズに不具合がある場合、ジャンパーをかけるとショートして火災の危険があります。欠陥のあるヒューズは、必ず同じ定格の新しいヒューズと交換してください。

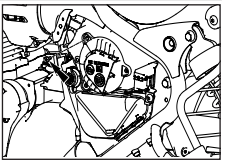
注意

電球、ヒューズ、電気部品を交換するときは、イグニッションスイッチがOFFになっていることを確認してください。

マイナーメンテナンスのポイント

エアフィルター

- エアフィルターは、左サイドパネルの内側にあります。
- 工具キットに含まれるドライバーを使用して、エアフィルタカバーのネジを取り外してください。
- エアフィルターボックスのカバーを外してください。
- フィルターエレメントを引き出して、汚れがないかを確認してください。フィルターエレメントは丁寧に清掃してください。
- エアフィルターボックス内のゴミ、油分を確認し、丁寧に清掃してください。



注意

エアフィルターエレメントの清掃に高圧の圧縮空気を使用することはお勧めしません。エアフィルターエレメントの取り付けは、取り外したときと逆の手順で行ってください。

長距離 走 行時 の 注意 事項

長距離走行開始前の確認事項

- Royal Enfield正規ディーラーでモーターサイクルを点検してください。
- 計画した旅程に十分な量の燃料が常に燃料タンクにあることを確認してください。
- 必要に応じてタイヤの空気圧を点検し、調整してください。

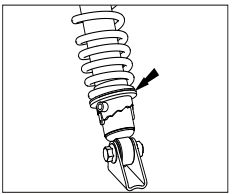
長距離走行前に、これらの点をすべて確認してください

- ファスナーに緩みがないか。
- タイヤの状態。
- エンジンのオイルレベルが適正であること。
- 全てのライトとホーンの作動。
- ドライブチェーンの張りが適正であること。
- クラッチケーブルの遊び。

携 帯 品

- ツールキット。
- ヘッドライト、ウインカーバルブ、ヒューズ。
- アクセルケーブルとクラッチケーブル。
- スパークプラグ、スパークプラグキャップおよび燃料ホース。

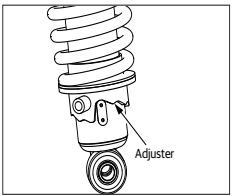
リアサスペンションセッティング



- モーターサイクルをセンタースタンドで立てて下さい。
- タイヤの空気圧が推奨仕様であることを確認します。
- アジャスターにゴミや汚れがないことを確認してから調整してください、ゴミや汚れ

  がある場合は 、調整前に適切な方法で清掃してください。
- アジャスターは5段階の調整で、最初のノッチの位置に保たれています。
- プリロードを増加させるには、六角レンチを使用してアジャスターを時計回りに回し、ショックのプリロードを調整してください。
- プリロードを減少させる(第一ノッチの位置にする)には、六角レンチを使用してアジャスターを反時計回りに回し、ショックのプリロードを調整してください。
- 左右同じように調整してください、調整がずれるとライダーに違和感を与えることがあります。

注意



- サスペンションの調整には六角レンチが必要です。六角レンチは、車両の工具キットに付属しているものを使用することをお勧めします。テコ入れ用の延長チューブの使用をお勧めします。
- スプリングのプリロードは、ライダーと荷物および同乗者の重量に合わせて設定するのがベストです。
- 満載時（GVW）にはプリロードを増加させ、最終ノッチにとどめることで、ハンドリングと安定性を理想的に両立させることをお勧めします。
- 5㎜六角レンチ以外の工具は使用しないでください。

リアサスペンションセッティング

状態	最大参考積載量	サスペンションセッティングノッチ	タイヤの空気圧 (psi)	
			フロント	リア
非積載/ワンアップロード/ライダーのみ。	体重90 kgまでのライダー	1段	41	36
積載/ツーアップ/ライダー＋ピリオン/ライダー＋ピリオン＋アクセサリー	最大積載量180 kg（ライダー重量、パッセンジャー重量、アクセサリーを含む）	5段	41	41

*LHとRHのリアサスペンションに均等にプリロードが設定されていることを確認してください。

洗車の手順

注意 事項

- イグニッションキーを取り外し、イグニッションキーのバレルスロットを粘着テープで塞ぎます。
- 左サイドパネル内の工具キットと関連書類を取り出してから、モーターサイクルの洗車を始めてください。
- サイレンサーテールパイプ、ホーンおよび操作スイッチなどを適切なビニール袋で覆い、水が入らないようにしっかりと縛ります。
- モーターサイクルの洗車は、エンジンが冷えている時に行ってください。
- 水が入らないように、洗車中にサイドパネルを外さないでください。
- 腐食性のないお勧めの溶剤でエンジン部をブラッシングし、汚れやグリースを落とします。
- 低圧のウォータージェットで洗浄します。
- ヘッドランプ、スピードメーター、トリッパー、パッシングライト、フロントホイールとリアホイールのハブ、電気接続部と配線、コントロールケーブル、 スパークプラグ、バッテリー、ABS ECU、EMS ECU、 サイドミラー、ステアリングステムなどには絶対に水を勢いよくかけてはいけません。
- ヘッドストックベアリングやステアリングステムベアリングのシール、ホイールベアリングのシール、ブレーキキャリパー、エアインテークや排気口の近くで高圧洗浄機やスチームジェットクリーナーを使用しないでください。
- 塗装面やゴム部には腐食性の溶剤を塗布しないでください。

洗車の手順

- 塗装部品には、ぬるま湯と中性洗剤を使って汚れなどを落とします。
- 洗剤を取り除くために、モーターサイクル普通の水で十分に洗浄します。
- ブリーザーホールから水が入るのを防ぐため、計器盤の下側に向かって直接水をかけないでください。
- 可能であれば、圧縮空気を使って、モーターサイクルの不明瞭な部分や電気接続部などに付着した水滴を吹き飛ばします。
- モーターサイクル塩分の多い場所（冬期に道路塩が使用されている場所など）や海岸近くで走行した場合は、腐食や錆の蓄積を防ぐために、走行後に冷水でモーターサイクル洗うことをお勧めします。温水での洗浄は、塩との化学反応によりモーターサイクル損傷する恐れがありますのでおやめください。洗車後、モータサイクルが完全に乾いたら、部品を腐食から保護するために、すべての金属とクロムメッキ部分に防錆スプレーを塗布することをおすすめします。
- ブレーキディスクには防錆スプレーを塗布しないで下さい。
- 電子部品のクリーニングや洗車には、ガソリンやブレーキオイルなどの引火性液体を使用しないでください。
- モーターサイクルコンフィギュレーターで選択した部品は、石鹸や化学薬品で洗わず、普通の水だけで洗ってください。
- ステアリングコーンキット、ブレーキペダル、ホイールベアリング、チェーン、ブレーキカム、スイングアームブッシュなどのラジエーター潤滑箇所、デカール、電装品、カプラージョイント、サイレンサーテールパイプは、スプレーモードのみで洗浄してください（ジェットモードではなく）。

洗車の手順

洗車後

- 清潔な柔らかい糸くずの出ない、吸水性のある布やセーム革で拭いて、モータサイクルが完全に乾いていることを確認して下さい。
- 粘着テープをすべてはがしてください。
- コントロールケーブル，フットレスト，サイドスタンド、センタースタンド、ブレーキやギアシフターのリンゲージ、ドライブチェーン等に潤滑油を塗布します。
- 推奨される自動車用研磨ワックスを使って、塗装面やメッキ面を磨きます。
- エンジンを始動し、数分間アイドリングを行い、エンジンを暖機します。
- モータサイクルゆっくり走らせ、両方のブレーキを断続的にかけ、ブレーキパッド内の水分を乾かしてください。
- 左サイドパネルに工具キットや関連書類を収納する前に、左サイドパネルの水滴を完全に拭き取ってください。

保管 上 の 注意

モーターサイクルを１ヶ月以上使用しない場合は、以下の注意が必要です。

- Royal Enfield 正規ディーラーで、モーターサイクルの修理を受けてください。
- 燃料タンクとインダクションシステムから燃料を完全に抜き取ります。
- スパークプラグを取り外し、スパークプラグの穴からきれいなエンジンオイルを約5ml注入します。穴を塞ぎ、エンジンを数回クランキングさせ、スパークプラグを取り付けます。
- ドライブチェーンを完全に清掃し、Royal Enfield推奨のチェーン潤滑剤を塗布します。
- 塗布後5分後に余分な潤滑油を拭き取ってください。
- ヒューズボックスから充電回路のヒューズを取り外してください。
- バッテリーは、涼しく乾燥した風通しのよい場所に保管してください。
- サイレンサーを適切な袋で覆い、水分の侵入を防いでください。バイクをセンタースタンドにセットします。
- すべてのメッキ部品に防錆剤を塗布します。クローム、ゴム、塗装された部品にこの溶液を塗布しないように注意してください。バイクは、湿気やほこりのない、きれいなカバーのかかった場所に保管してください。
- 保管後に再使用する場合は、Royal Enfield正規ディーラーでモーターサイクルを整備して、最高の動作状態に回復させることが望ましいです。
- バイクを１ヶ月以上使用しない場合は、バッテリーの端子を外し、バッテリーを取り外すことをお勧めします。バッテリーをバイクに再装着する前に，バッテリー電圧が仕様範囲内であることを確認し，仕様範囲外であれば，正規ディーラーで、バッテリーを点検、再充電して下さい。

トラブルシューティング

バイクが機能しない場合の基本的なチェック項目を以下に挙げました。これらの点検を行っても問題が改善されない場合、問題を解決し、正常な状態に戻す為に、Royal Enfield正規ディーラーで点検を受けていただくことが必要です。

症状	観察	確認／対処
エンジンが始動しない	イグニッション／エンジンキルスイッチがOFFの場合	イグニッションをONにしてください
	フューエルタンクの燃料レベルが不十分な場合	燃料の補充
	ライトが暗くなった場合／ホーン音が弱くなった場合	バッテリーが弱い、または放電している / 充電回路に問題がある場合、正規ディーラーへご連絡ください
	ヒューズが飛んだ場合	1.同じ定格のヒューズに交換します 2.それでも問題が解決しない場合は、正規ディーラーにご連絡ください。
	スパークプラグ、キャップ、ハイテンションケーブルの接続問題	スパークプラグ、キャップ、ハイテンションケーブルの再接続。

トラブルシューティング

症状	観察	確認／対処
エンジンは始動するが、すぐに停止してしまう	クラスター内のMILランプが点灯している場合	正規ディーラーへご連絡ください
エンジンのミスファイヤや走行不良／停止。	燃料に不純物や水分が混入している場合	正規ディーラーへご連絡ください
	エンジンの温度が高すぎる場合	エンジンをOFFにし、冷却してください。
トルクの低下	エンジン回転数が車速と不釣り合いに上昇した場合	クラッチの遊びを調整し、正規ディーラーへご連絡ください。
ABS（アンチロックブレーキシステム）	ABSランプがONになり続ける場合	正規ディーラーへご連絡ください

環境 配 慮

環境 に 配 慮 した ライダー に なる

あなたはRoyal Enfieldで美しい場所を訪れてきたことでしょう。これからもその状態を維持したいと思いませんか？ここでは、そのような場所を他の人にも楽しんでもらうために、手つかずの自然を残すためのヒントを紹介します：

廃棄処分 – 部品/車両

エンジンオイルや冷却水、洗浄溶剤などの廃液は、定期的に交換する必要がありますが、それらはどうなるのでしょう? 土中や下水に捨てないように注意してください。

それらは、容器に保管し、政府認定のリサイクル業者またはRoyal Enfield正規ディーラーに引き渡すものとします。

バッテリー、タイヤ、プラスチック部品、電気および電子部品、オイルフィルターの場合、認定リサイクル業者またはRoyal Enfield正規ディーラーにのみ引き渡されるものとします。

車両の洗浄に使用した洗浄液やスプレーは、環境に配慮した方法で廃棄してください。

定期メンテナンス

ここに記載されているメンテナンススケジュールは、Super Meteor 650モーターサイクルをきめ細かくメンテナンスするために役立ちます。ここに記載されているスケジュールは、平均的な走行条件に基づいており、定期的な点検、調整、交換、注油が行われるべき走行距離を示しています。走行状況の厳しさや、モーターサイクルが非常にダストっぽい環境で使用されている場合には、メンテナンスの頻度を短くする必要があります。専門家のアドバイスと必要なメンテナンスを行うために、最寄りのRoyal Enfield正規ディーラーにお問い合わせください。

番号	説明	定期メンテナンス（どちらか早い方）										
	km (x 1,000)	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	Miles(x1000)	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
1	エンジンオイル (#)	R		R		R		R		R		R
		1000 kmごとに（あるいは必要に応じてそれ以前に）オイルレベルを点検し、必要に応じて補充してください。										
2	エンジンオイルフィルター (#)	R		R		R		R		R		R
3	吸排気バルブクリアランス (**)			I		I		I		I		I

定期メンテナンス

番号	説明	定期メンテナンス（どちらか早い方）										
	km (x 1,000)	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	Miles(x1000)	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
4	スパークプラグ	I	I	I	I	R	I	I	I	R	I	I
5	HTリード線	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
6	ゴムホース、エアフィルターからスロットルボディまで	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
7	ゴムホース、インレットマニホールド/アダプター	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
8	蒸発ガス排出装置用ゴムホース	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
9	エアフィルターエレメント	C	C	R	C	R	C	R	C	R	C	R
		埃の多い環境で使用する場合は、より頻繁に清掃／交換を行ってください。										

定期 メ ン テ ナ ン ス

番号	説明	定期メンテナンス （どちらか早い方）										
	km (x 1,000)	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	Miles(x1000)	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
10	エアフィルターボックス下のベントパイプ	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
11	スロットルケーブル	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
12	クラッチケーブル／レバーの遊び	必要に応じて1000 km毎またはそれ以前に調整										
13	クラッチレバー&フロントブレーキレバーピボット	1000 km毎、または必要に応じてそれ以前に潤滑剤を塗布してください。										
14	ブレーキパッド - フロントおよびリア	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
15	ブレーキフルード - フロントおよびリア	I	I	I	I	R	I	I	I	R	I	I
16	リアブレーキペダル、ギアチェンジペダルピボット	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L

定期メンテナンス

番号	説明	定期メンテナンス（どちらか早い方）										
	km (x 1,000)	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	Miles(x1000)	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
17	ブレーキホース&バンジョーボルト-フロントおよびリア	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
18	ヘッドストックベアリング	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
19	後輪駆動用チェーン	500 kmごとに（または必要に応じてそれ以前に）、あるいは雨天／ほこり／泥の多い状況での走行後に、清掃、潤滑、調整を行ってください。										
20	リアホイールクッシュラバー					I				I		
21	バッテリー端子（ワセリン塗布）	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
22	アース線アイレットの締まり具合			I		I		I		I	I	I
23	タイヤ摩耗パターン フロントおよびリア	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I

定期 メ ン テ ナ ン ス

番号	説明	定期メンテナンス （どちらか早い方）										
	km (x 1,000)	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	Miles(x1000)	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
24	サイドスタンド&センタースタンドピボット	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L
25	ライダーおよびパッセンジャーフットレストピボット	L	L	L	L	L	L	L	L	L	I	I
26	車両に取り付けられているすべての固定具の締まり具合	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I

A: 調整　　C - 清掃　　L - 潤滑　　R - 交換　　I - 点検（清掃、調整、潤滑、必要な場合は交換）

(#) - 初回整備後は、走行距離に関係なく、12ヶ月ごとにエンジンオイルとエンジンオイルフィルターの交換が必要です。

(**) - 初回整備後は、走行距離に関係なく12ヶ月ごとにバルブクリアランスの調整が必要です。

注意

50,000Km走行後のメンテナンスについては、Royal Enfield正規ディーラーにご相談の上、上記と同じ頻度で行ってください。

一般保証利用規約と条件

Royal Enfield モーターサイクル (「モーターサイクル」) は、材料と製造に関して最高の品質慣行に従って製造されていま す。すべてのオートバイ(登録国に関係なく)は、登録国に加えて、別の国にある Royal Enfield 正規ディーラー ワーク ショップ / サービス センターからの限定保証サービスを利用できます。顧客は利用規約を参照する必要がありますボーダレス 保証ポリシーに記載されています。

重要:これらの利用規約を必ず読み、理解してください

この保証は、オートバイの保証範囲の義務および除外のみを規定する条件を概説するものであり、Royal Enfield 正規ディー ラーの側によるものではありません。この文書のいかなる内容も、Royal Enfield とその正規代理店またはそのスタッフとの間 の原則的な代理店関係として解釈されるべきではありません。Royal Enfield は、以下の条件を条件として、通常の使用におい て自社のオートバイに製造上および材料上の欠陥がないことを保証します。

1. あらゆるオートバイの保証は、最初の所有者およびその後の所有者へのオートバイの販売日から 36 か月のいずれか早い方 の満了日まで有効であり、上記の保証の満了までの残りの期間となります .
2. 人目以降の所有者が保証特典を利用するには、2 人目以降の所有者は、最寄りの Royal Enfield サービス センターにオート バイの購入について通知し、認定 Royal Enfield センターの要求に応じてフォームに必要な詳細を記入する必要があります。
3. オートバイの保証は、Royal Enfield の取扱説明書のスケジュールに従って、所有者が当該オートバイに関するすべてのメ ンテナンスとサービスをそれぞれの保証期間 / キロメートル範囲内で利用した場合にのみ適用されます。正規代理店 / サー ビス中心。

一般保証利用規約と条件

4. 保証期間中、Royal Enfieldの保証義務は、検査により欠陥部品に製造上の欠陥があるとみなされた場合にのみ、欠陥部品 を修理または新しい部品と交換することに限定されるものとします。保証期間に基づいて交換された欠陥部品は、Royal Enfieldの唯一の所有物となります。
5. この保証は、製造上の欠陥のある純正部品の修理または交換に明示的に限定されており、保証の唯一の救済策です。
6. 適用法で許容される最大限の範囲で、明示的か黙示的かを問わず、あらゆる種類のその他すべての保証は否認されます。ここに記載されている黙示の保証の除外は、適用法で禁止されている範囲には適用されません。
7. 保証は以下の場合には適用されません:
   (a) 修理・交換時に使用するオイル、オイルフィルター、ブレーキ液、冷却液、燃料、グリースなどの消耗品は保証対象外 となり、かかる消耗品はお客様のご負担となります。
   (b) 顧客は、製品またはその交換部品の修理、または製品への交換部品の取り付けから生じるすべてのリスクと責任を負う ものとします。保証期間中のいつでも、製品またはその一部が、当社の権限を持たない人物によって取り外し、変更、 改ざん、調整、変更、解体、修理、または何らかの方法で取り扱われた場合、本ポリシーは適用されます。直ちに無効 となり、最初は無効になり、何の効果もありません。

一般保証利用規約と条件

(c) メッキ部品、塗装、ゴム部品、柔らかいもの、ガラス製品、プラスチック部品などの通常の経年変化(磨耗)、劣化や 錆び。オイルフィルター、エアフィルターペーパーエレメント、コントロールケーブル、ブレーキシュー/ブレーキパッド、クラッチプレート、ドライブチェーンとスプロケットキット、ステアリングボールレース、電装品、ワイヤーハーネスなど、通常の摩耗や損傷を受けるコンポーネント。推奨グレード以外の潤滑油、冷却液、ブレーキフルード、フォークオイル、燃料の使用、または不適切なレベルの使用により故障が発生しました。

(d) 純正品以外の部品や付属品の使用、適切なメンテナンスの欠如、誤った乗り方による損傷。改ざんによるエンジン管 理システム部品(ECU、スロットルボディ、センサーなど)の損傷により、車両の性能に影響が生じた場合。事故、衝 突、放置、乱用、誤った取り扱い、火災、天災などにより損傷した部品。

(e) わずかな振動、オイル漏れ、エキゾーストパイプの曲がりや触媒領域/サイレンサー/ソフトまたはハードショックア ブソーバーの変色など、車両の品質や機能に影響を与えるとは認められない異常。

(f) エキゾーストパイプやサイレンサーの変色は使用中に自然に起こる現象です。

(g) サイドカー、トレーラーヒッチなどの認可されていない付属品や部品、または追加の電気負荷の取り付けに起因する欠 陥または損傷。

(h) 認定サービスディーラーで整備または修理された車両。

(i) 競技/レース/ステージラリー//スタント//ジャンプ/アクロバットなど、またはオートバイと同様の活動に使用さ れるオートバイは、そのような目的や用途のために設計または意図されていません。

(j) 電球、ヒューズなどの電気部品、およびアーク溶接修理によるECUを含む電子部品の故障。

(k) フレームの一部に改ざん/穴あけ/溶接の跡がある車両が見つかった場合。

(l) ブレーキの調整、燃料システムの洗浄、エンジンの調整、その他の調整などの通常のメンテナンス作業。

(m) バフ仕上げ/塗装/粉体塗装品等の酸化。

(n) 戦争行為、天災または自然災害、地震、ハリケーン、竜巻、洪水、火災またはその他の類似の死傷者、暴動、テロリズムなどを含むがこれらに限定されない、何らかの重大な出来事によって生じた損害。

(o) モーターサイクルまたはその部品の不適切な組み立て、メンテナンス、保管、または使用によって引き起こされた損傷、故障、または損失。

8. Royal Enfield承認の部品およびアクセサリのみを使用してください（該当する場合）。他のメーカーの性能部品を使用する と、オートバイの保証が無効になります。

9. 次の場合、保証は無効になります ：

(a) オートバイがレクリエーションまたは移動以外の目的で使用される、または

(b) オートバイは何らかの方法で改造されています、または

(c) シリアル番号/識別コードが削除、汚損、改ざん、消去または除去された場合。

一般保証利用規約と条件

10. 以下は特にこの保証の条項から除外されます。
    (a) 元の保証部品または付属品がRoyal Enfield認定ディーラーによって取り付けられた場合を除き、この保証に基づく交 換部品の取り付けにかかる人件費はかかります。
    (b) RE アクセサリが設計または推奨されていない、RE オートバイ モデルでの使用または取り付けのために改造されたも の。
11. Royal Enfieldは、すべての保証請求について最終的に決定する権利を留保します。
12. RE は、以前に供給されたオートバイにこれらの変更を取り付ける義務を負うことなく、オートバイのモデルの設計に変更を 加える権利を留保します。
13. Royal Enfieldは、オートバイ/その部品および所定の付属品の購入/オートバイの整備/保証期間中の該当する保証の請 求の結果として、あなた(つまり、顧客)によって、機密データおよび/または個人データ、およびあなたまたは第三者に 関連する情報を受け取りますあなたに関係する当事者(あなたの配偶者、家族、親戚など)。このようなデータは、お客様ま たは他の情報源から受信される場合があり、一部の機密/個人データは、Royal Enfieldの内部セキュリティ システムまた はその他の手段によって直接的または間接的に記録される場合があります。ロイヤル エンフィールドは、関連する限られた 目的のためにかかるデータを処理する場合があり、これに関して、お客様は以下に明示的に同意するものとします。
    (a) Royal Enfieldによる、お客様またはお客様に関連する第三者に関する機密の個人データおよび情報の処理。
    (b) 限定された目的での機密の個人データとお客様に関する情報の収集と処理。

(c) Royal Enfieldが保有する、お客様またはお客様に関連する第三者に関する機密の個人データおよび情報を、Royal Enfieldの世界規模の組織のサービス プロバイダー、ディーラー、サプライヤー、アドバイザーおよびオフィス、およ び開示先となる第三者に世界的に転送すること。かかる第三者は、通常の業務過程または法律により必要とされます。マーケティング資料やビデオなどで個人の画像や音声を使用すること。

上記のポイント 13 で提供された明示的な同意を撤回したい場合、お客様は、かかる同意の撤回を希望する旨を記載した電子 メールを support@royalenfield.com に送信することに同意し、RE はそれに応じて、それに関連するすべての機密データおよ び/または個人データを削除します。あなたに、適用される法律に従って、合理的な期間内に RE を記録する必要があります。

14. この保証の違反に対する唯一の救済策は、Royal Enfieldの選択により、欠陥のある材料、コンポーネント、または製品の 修理または交換となります。この保証に規定されている救済策は、この保証に違反した場合に誰でも利用できる唯一の救済 策です。RE は、明示的または黙示的な保証またはその他の契約、過失、その他の不法行為またはその他に起因するかどうか にかかわらず、記述の付随的、結果的、または特別な損害について、いかなる者に対しても責任を負わないものとします。この結果的損害、偶発的損害、および特別損害の除外は、排他的救済がその本質的な目的を果たさなかったといういかなる認定からも独立しており、存続するものとします。

15. 保証の否認: ここで明示的に行われる保証を除き、RE は、事実上、または法律の運用、法定かその他を問わず、明示的か 黙示的かを問わず、いかなる保証も表明も行いません。

16. 一般保証はインドの法律に準拠するものとし、お客様はインドのニューデリーの専属管轄権および裁判所の裁判地に同意す るものとします。

ボーダレス保証の利用規約と条件

RE ボーダレス保証(個人輸入によりある国から別の国に輸出されるオートバイには適用されません)には以下の条件が適用さ れます。



1. ライダーは、Royal Enfield正規ディーラーによる確認のために、メンテナンスおよびサービスの記録、所有権の証明、お よびオートバイ登録書類（原本/コピー/ソフト コピー）を携帯する必要があります。
2. 定期メンテナンス サービスは、Royal Enfield正規ディーラー ワークショップ/サービス センターから、オーナーズ マ ニュアルのスケジュールに従って、それぞれの期間/キロメートル範囲で利用できます。
3. Royal Enfield正規ディーラー ワークショップ/サービス センターの義務は、検査の結果、部品に製造上の欠陥があると みなされた場合に限り、モーターサイクルの純正部品を無料で修理/交換することに限定されるものとします。交換された 欠陥部品は、適切な検証の後、Royal Enfieldの唯一の所有物となります。
4. ライダーは、Royal Enfield正規ディーラー ワークショップ/サービス センターまでオートバイを自身の費用と手段で輸 送するものとします。

ボーダレス保証の利用規約と条件

5. Royal Enfield正規ディーラー ワークショップ/サービス センターは、オートバイを可能な限り最良のタイミングで配送 できるよう努めます。ただし、サービス時間/期間は、必要な排出量/特定の国における国固有の公認スペアパーツの入手 可能性に応じて、通常より長く/延長される場合があります。

6. Royal Enfield公認ディーラー・ワークショップ/サービスクエンターでは、フォグランプ、ハイスパークランプ、アフ ターマーケットホーン、携帯電話チャージャー、ナビゲーターなど、電気または電子部品を含む非純正部品およびアクセサ リーの分解、再組み立て、取り外し、再取り付け時の最大限の注意を払います。ただし、Royal Enfield公認ディーラー・ワークショップ/サービスクエンターでは、非純正部品およびアクセサリーの組み立てに対する特殊工具やスキルなどが不 足しているために生じる破損、損傷、不良、再取り付け不可等に関する責任を負いません。

7. RE、Royal Enfield認定ディーラーおよび/またはその販売代理店はいずれも、オートバイの整備/修理の遅れによる時間/金銭の損失を含むいかなる損失についても責任を負わないものとし、ライダーは宿泊施設やその後の移動について自分で手 配する責任を負います。などなどケース。

8. さらなる修理のためにバイクを別の工場に牽引する必要がある場合、または本国送還としてライダーの本国にバイクを牽引 する必要がある場合は、ライダー自身の費用とリスクで行うものとします。

9. 残りの契約条件は、一般保証と同じものとします。

10. ボーダレス保証はインドの法律に準拠するものとし、お客様はインドのニューデリーの専属管轄権および裁判所の裁判地に 同意するものとします。

最新の認定サービス ネットワークについては、https://www.royalenfield.com/in/en/locate-us/service-centres をご覧く ださい。海外旅行中で、Royal Enfield認定ディーラーからの保証サポートやアドバイスが必要な場合は、www をご覧くださ い。詳細については、royalenfield.com/borderless-warranty/をご覧ください。

お客様の責任

1. お客様は、何らかの問題が明らかになったら直ちに、さらなる損害を防ぐためにあらゆる可能な措置を講じ、そのような損 害が発生してから合理的な期間内に、Royal Enfield正規販売店/サービス センターにそのような損害について通知するも のとします。
2. RE が製造するモーターサイクルを購入することにより、お客様はモーターサイクルの所有、所有、使用、輸送に関して適用 されるすべての法律および国際法を確認し、従う責任を負います。顧客は、適用法に違反したモーターサイクルの購入、所 有、輸送、または使用から直接的または間接的に生じたすべての請求に対して RE を補償し、免責することに明示的に同意 します。RE は、正規ディーラー/販売代理店から購入したオートバイの誤用については責任を負いません。

責任の制限

このポリシーに矛盾する内容が含まれているにもかかわらず、本保証に基づくRoyal Enfieldの責任は、その独自の裁量によ り、欠陥のあるオートバイの修理に限定されます。いかなる場合においても、Royal Enfieldは、間接的、特別、結果的、付随 的損害、人身または財産への傷害、時間の損失、商業的損失、不都合、その他の付随的、懲罰的、結果的損失について責任を 負わないものとします。の使用からオートバイ。

排出 ガ ス 保証

Royal Enfieldは、以下の保証が、同社のモーターサイクルのモデルの範囲で、通常の使用においてガス状汚染物質の排出に影響を与える可能性のある部品に適用されることを証明します。

この排出ガス保証は、最初のお客様への販売日から30,000km/3年のいずれか早い方が有効であり、取扱説明書に記載されている保証方針、条件、義務に追加され、並行して行われます。

さらにRoyal Enfieldは、Royal Enfield正規ディーラーによる検査の結果、モーターサイクルが指定された排出ガス基準を満たしていない場合、Royal Enfield 正規ディーラーは必要な是正措置を講じ、独自の判断で排出ガス基準を満たすように排出ガス制御システムコンポーネントを無償で修理または交換することを保証します。

排出ガス保証関連部品の保証条件を決定するための検査方法は、Royal EnfieldおよびRoyal Enfield 正規ディーラーが独自に決定し、その結果は最終的なものとなります。検 査 の 結果 、 部品 の 保証 条件 が 確立 さ れ て い な い 場合 、 Royal Enfield は 、 部品 代金 に 加 え 、 そ の 検 査 費用 の 全 部 ま た は 一部 を お 客 様 に 請求 す る 権利を有するものとします。

排出ガス保証の対象となる部品を受け取った場合、Royal Enfieldは必要に応じて部品を無料で交換します。ただし、燃料、潤滑油、溶剤などの消耗品については、実際の使用量に応じてお客様にご請求させていただきます。

排出 ガ ス 保証

排出ガス保証の対象となる部品またはそれに付随する部品が単独で交換できない場合。Royal Enfieldは、適切な修理によってアセンブリ全体またはアセンブリの一部を交換する独自の裁量権を有します。

Royal Enfield は 、 使用中の排出ガス規制への適合性を確認する為に、排出ガス保証の対象となる部品の修理や交換に加えて、モータサイクルに必要な間接的な修理や部品の交換を行う権利を有します。この ような修理 / 交換は 、お客様の負担となります。

保証期間中に交換のために取り外した部品は 、すべてRoyal Enfieldの所有物となります。

Royal Enfieldは、最寄りのRoyal Enfield 正規ディーラーまでのモーターサイクルの輸送費や、Royal Enfieldおよび/またはRoyal Enfield 正規ディーラーによる検査や修理の期間中にモーターサイクルが利用できないことによる損失については責任を負いません。

Royal Enfield は、使用中の排気ガス規制に従わなかったことを理由に法定当局から課せられるいかなる罰則にも責任を負いません。

モーターサイクルの排気ガス検査にかかる費用は、お客様のご負担となります。

排気ガス保証は、モーターサイクルの最初の販売日から本書に記載されているすべての条件が満たされていれば、モーターサイクルの所有者の変更にかかわらず適用されます。

排出 ガ ス 保証

こ の 保証 は 、 お 客 様 が 以下 の 条件 を 満 た し た 場合 に 適用 さ れ ま す

- オーナーズマニュアルに記載されているすべての重要な指示およびその他の注意事項を順守している。
- どのような状況下でも、RoyalEnfield が推奨する潤滑油と燃料を使用している。
- Royal Enfield のガイドラインに従って定期的にメンテナンスを受けて実施し、作業の詳細をログブックに記入している。
- 取扱説明書の指示に従ってモーターサイクルを整備、使用し、必要な修理や調整を行ったにもかかわらず、排出ガス規制に適合しない事が判明した場合は、直ちに最寄りのRoyal Enfield正規ディーラーにご連絡ください。
- 排出ガス保証を請求される場合は、有効な公害防止管理者証明書の提出が必要です。
- オーナーズマニュアルやログブックなどの検証内容を制作。
- モータサイクルの購入日から、取扱説明書に記載されているメンテナンスを行った際の領収書を作成している。
- 有効な保険証明書とRTO登録証（R.C.Book）を提示する。

排出 ガ ス 保証

以下 の 場合 、 エ ミ ッ シ ョ ン 保証 は 適用 さ れ ま せ ん

- 有効 な “汚染防止証明書が” 作成されていない場合。
- モーターサイクルがメンテナンスチャートに記載されているサービススケジュールにしたがって、Royal Enfield 正規ディーラーで整備されていない場合。
- モーターサイクルは異常な使用、濫用、怠慢および不適切な維持にさらされるか、または事故に会った。
- Royal Enfield が指定および承認していない交換部品を使用した場合。
- モーターサイクルまたはその部品が、許可されていない方法で変更されたり、改ざんされたり、修正されたり、交換されたりした場合。
- オドメーターが機能していなかったり、オドメーターおよび／またはその読み取り値が変更／改ざんされているため、実際に走行した距離を容易に知ることができない場合。
- モーターサイクル競技、レース、ラリーに使用した場合、または記録を残す目的で使用した場合。
- Royal Enfield正規ディーラーが検査した結果、モーターサイクルの使用やメンテナンスに関して取扱説明書に記載されている条件に違反していた場合。
- モーターサイクルが、オーナーズマニュアルやモーターサイクル販売時に顧客に渡されたその他の文書でRoyal Enfieldが指定したもの以外の粗悪品/有鉛燃料や潤滑油を使用して走行した場合。

排出ガス保証

- 排出ガス関連部品が改ざんされている場合。
- 排出ガス保証期間中に発生したサービスやパーツ関連の請求書や領収証が全て作成されていない場合。
- 排出ガス保証期間中にモーターサイクルに対して行われた整備作業が、すべてログブックに記入されていない場合。

法令を遵守するためのヒント

- モーターサイクルは、必ず公認の排出ガス検査センターで排出ガス規制に適合しているかどうかをチェックしてもらってください。
- 有効な「環境汚染防止証明書を常に携帯してください（法律で定められている場合）。

公害を減らすためのヒント

- オーナーズマニュアルに記載されているように、Royal Enfield正規ディーラーで定期的なメンテナンスを行ってください。
- 無鉛ガソリン（91RON以上）は、信頼できる給油所から購入したもののみを使用してください。
- 使用する燃料が粗悪品でないことを確認してください。
- 取扱説明書に記載されている正しいスパークプラグを使用してください。
- 潤滑油は、取扱説明書に記載されているグレードやブランドの推奨事項に従って使用してください。

燃料 蒸 発 ガ ス 防止 装置 保証

燃料蒸発ガス防止装置には、以下の保証が適用されます。

Royal Enfield Motorsは、本モーターサイクルの最初の所有者とその後の各所有者に対し、販売時点で本モーターサイクルに取り付けられている燃料蒸発ガス防止装置の関連部品が、本モーターサイクルの最初の使用日から24カ月間、適用される規制に適合しない原因となり得る材料や製造上の欠陥がないことを保証しています。

保証期間は、最初の小売購入者にモーターサイクルが引き渡された日、またはモーターサイクルがデモンストレーションや展示および／または試乗用として使用された最初の日から始まります。

以下は燃料蒸発ガス防止装置の対象外です保証

1. 誤用、改造、事故、または取扱説明書に記載されている定期的なメンテナンスを行わなかったことによって、発生する可能性のある故障。

燃料 蒸 発 ガ ス 防止 装置 保証

2. 燃料蒸発ガス防止装置（燃料タンク、燃料タンクキャップ、キャニスター、パージバルブ、スロットルボディ、ベーパーホース、燃料ホース、ホースコネクターで構成）の一部をRoyal Enfieldが認証していない部品で交換、取り外し、改造をすること。
3. 時間 の 損失 、 不便 さ 、 モーターサイクルの 使用 機会 の 喪失 、 ま た は そ の 他 の 結果的 な 損失 や 損害。
4. オドメーターが改ざんされていたり、何らかの理由でスピードケーブルが切断されていたり、破損してもすぐに交換しなかったりして、正確な走行距離が把握できない状態のモータサイクル。
5. 燃料ホース、ベーパーホース、ガスケット、ゴム部品などの部品の通常の経年劣化。

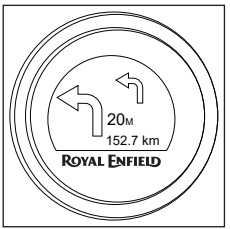
必要なメンテナンスの推奨事項

モーターサイクルの定期整備は指定された間隔で行うことをお勧めしており、燃料蒸発ガス防止装置の整備は、Royal Enfield正規ディーラーのみが行い、Royal Enfield純正スペアパーツのみを使用するようにしてください。

無線機の型式承認

トリッパー／ナビゲーションディスプレイユニット日本

JAPAN



R 201-210459

サービス/メンテナンス記録

シリアルナンバー	サービス内容	スケジュール	日付	ジョブカード番号	km	ディーラーコード	サービス内容の概要

配線 図

免責 事項

配線回路の修理やその他の電気的な作業は、Royal Enfield正規ディーラーのみ行うことをお勧めします。これを守らないと、電気系統に損傷を与えたり、製品の保証が無効になることがあります。



備考

備考

備考

備考

備考

ROYAL ENFIELD

ROYALENFIELD.COM

RAM00621/B

Part No. RAM00621/B

Edition : 12th March 2025